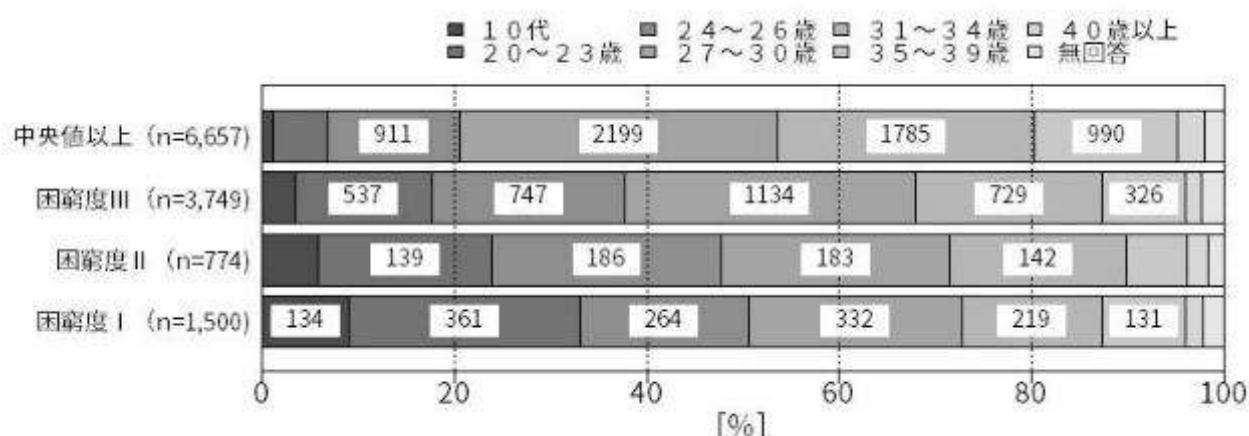


困窮度別に見た、はじめて親となった年齢（問33）

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

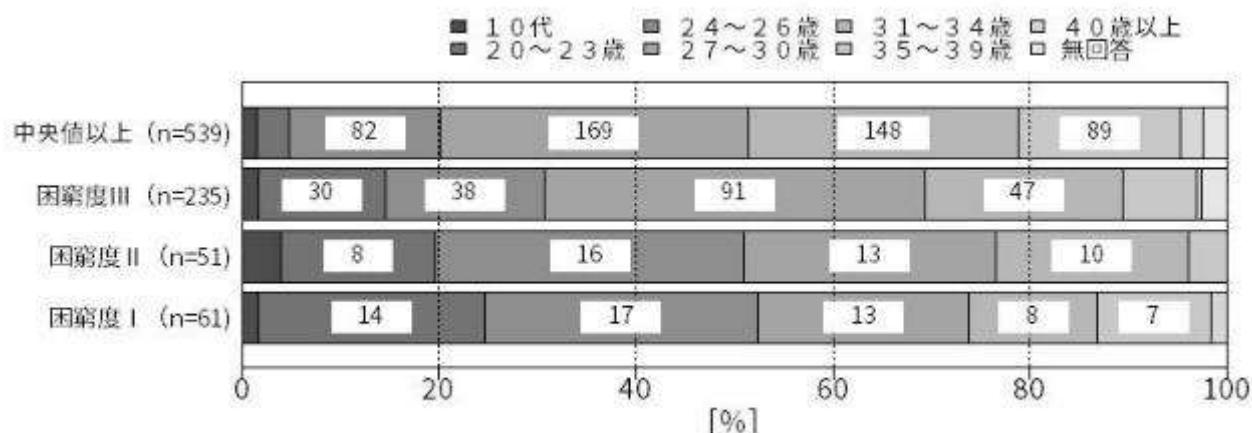
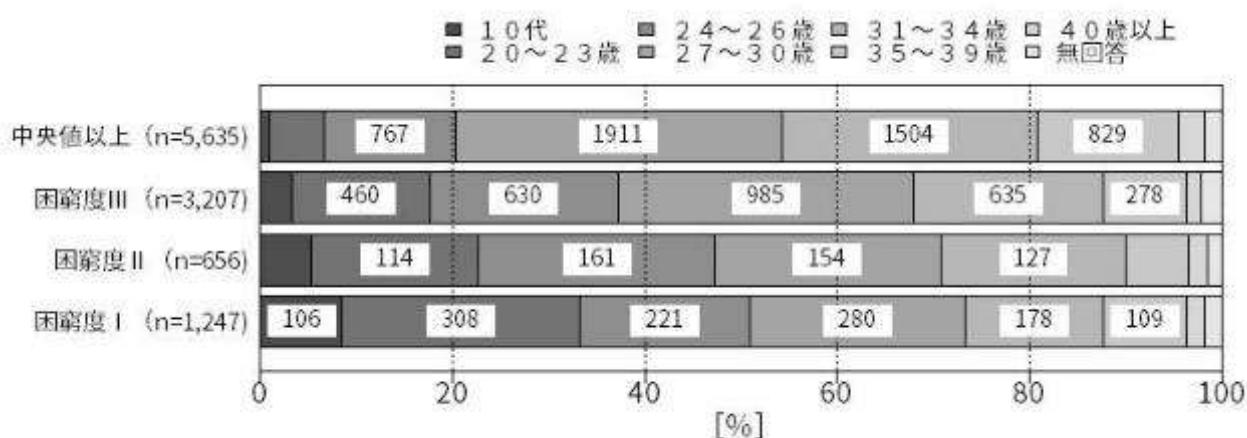


図93. 困窮度別に見た、はじめて親となった年齢

困窮度が厳しくなるにしたがって、10代・20～23歳で親となった割合が増える傾向にあった。困窮度I群で10代で親となった割合は1.6%、20～23歳で親になった割合は23.0%であった。若くして母親となった人ほど、経済的な問題を抱えている可能性が考えられる。

困窮度別に見た、はじめて親となった年齢（問33）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

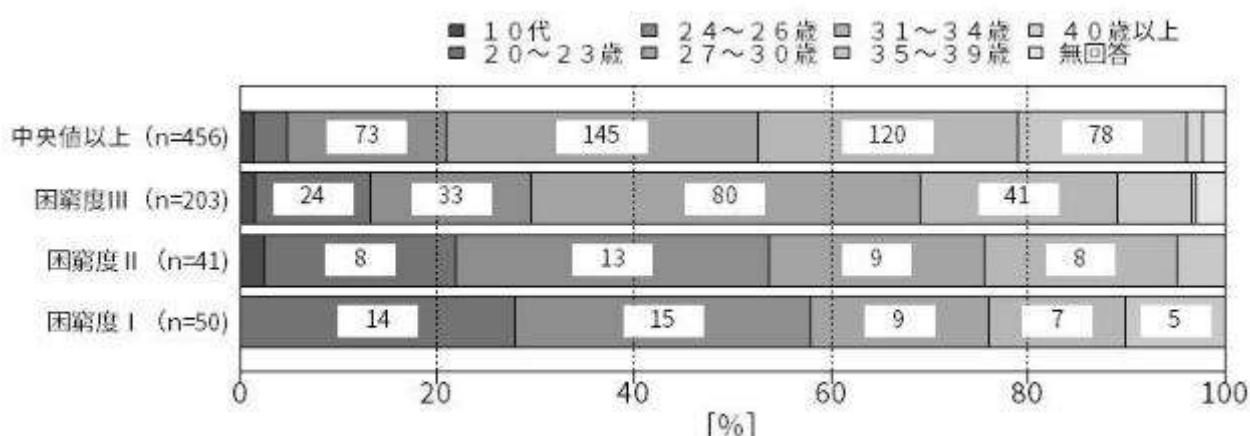


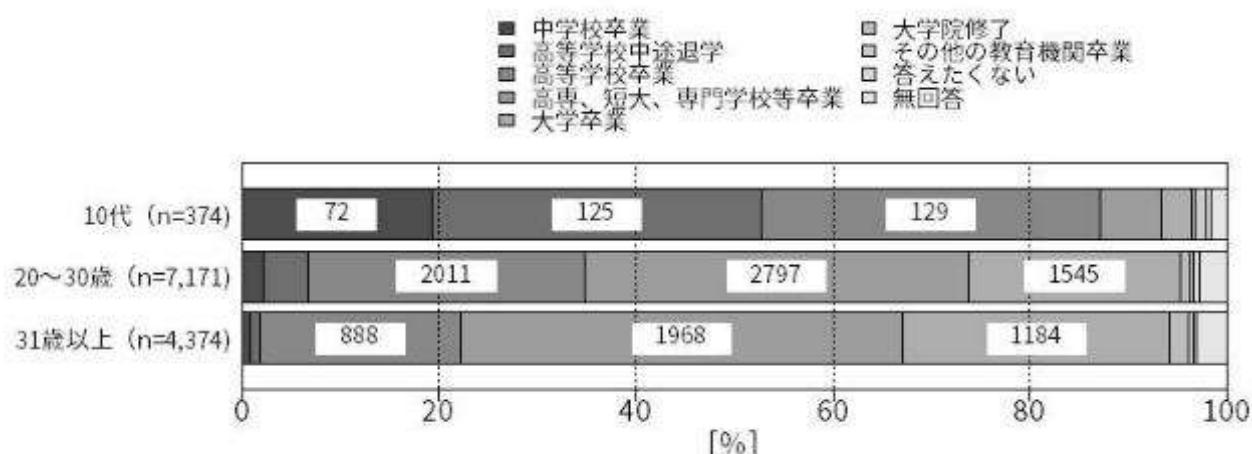
図94. 困窮度別に見た、はじめて親となった年齢

※母親が回答者の場合に限定

中央値以上群と比べて、困窮度I群・困窮度II群・困窮度III群では10代・20~23歳で親となった割合が増える傾向にあった。困窮度I群で10代で親となった割合は0%、20~23歳で親になった割合は28.0%であった。若い世代で出産する人では、経済的に厳しいことが示唆される。

初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴（問33×問8-母）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

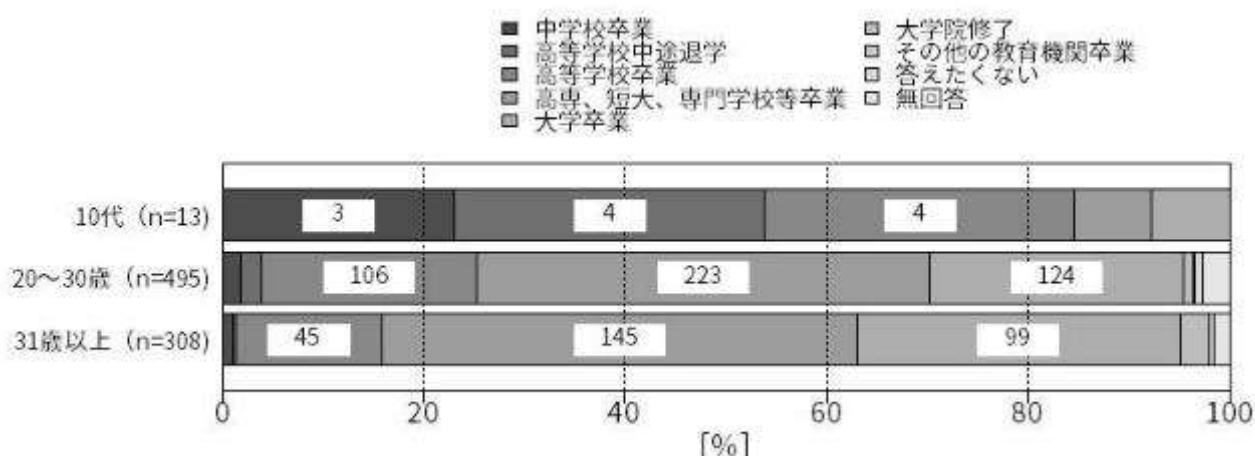


図95. 初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴（母親）

※母親が回答者の場合に限定

「初めて親となった年齢」を基準に、10代で初めて親となった10代群、平均出産年齢以下の年齢で初めて親となった平均以下群（20～30歳）、平均出産年齢以上の年齢で初めて親となった平均以上群（31歳以上）を設けた（平均出産年齢については下記URLを参照）。

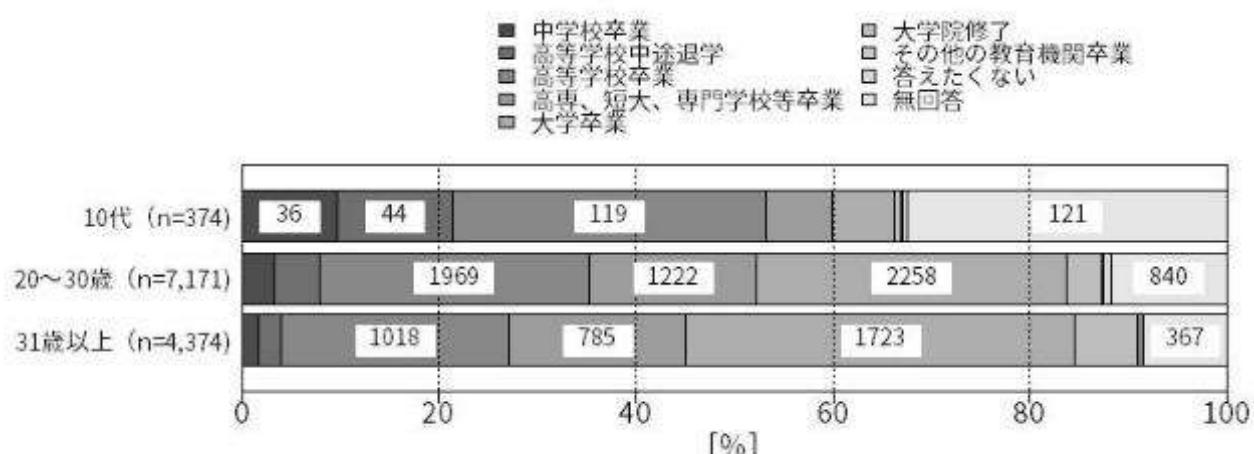
10代で出産する人の世帯は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

平均出産年齢

[http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2013/25webhonpen/html/b1\\_s1-1.html](http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2013/25webhonpen/html/b1_s1-1.html)

初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴（問33×問8-父）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

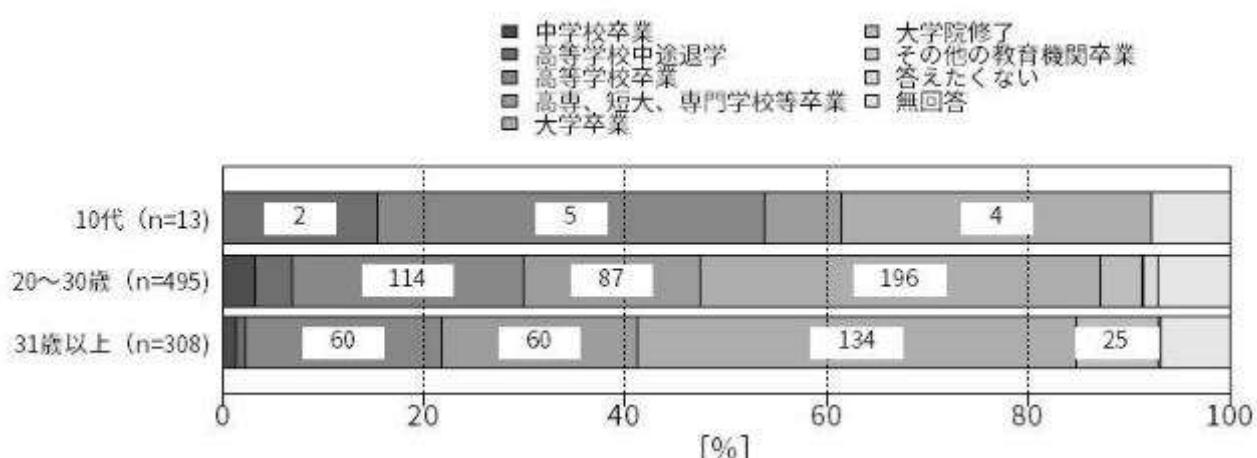


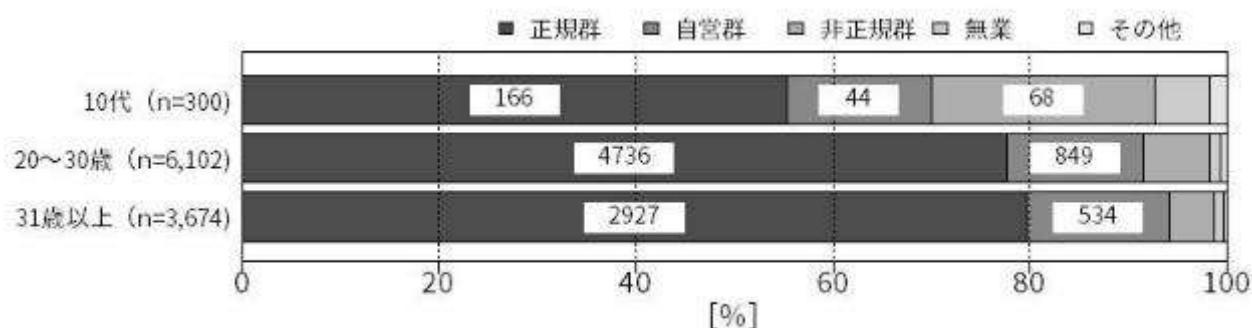
図96. 初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴（父親）

※母親が回答者の場合に限定

10代で出産した人数は少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、就労状況（問33×問8）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

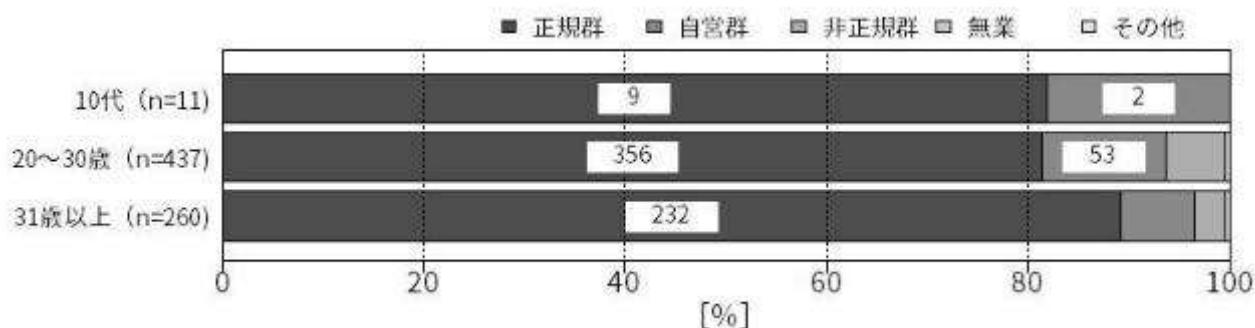


図97. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況

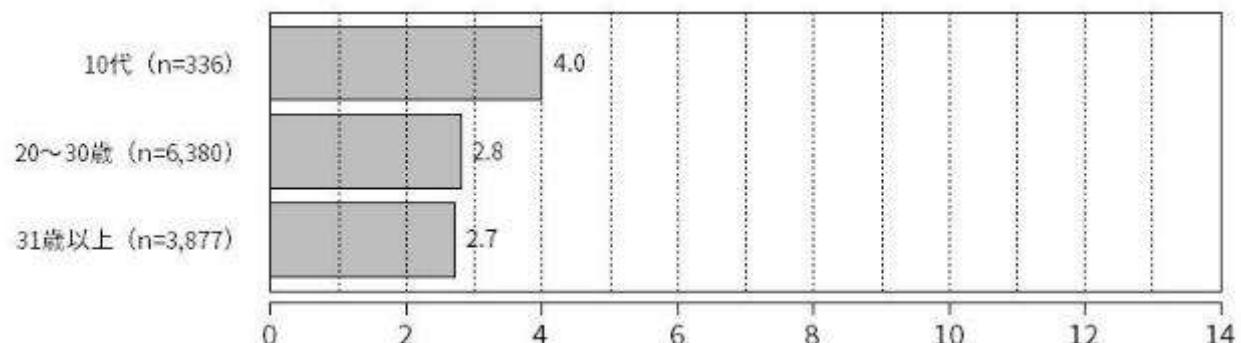
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産した人数は少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、体や気持ちで気になること（問33×問37）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

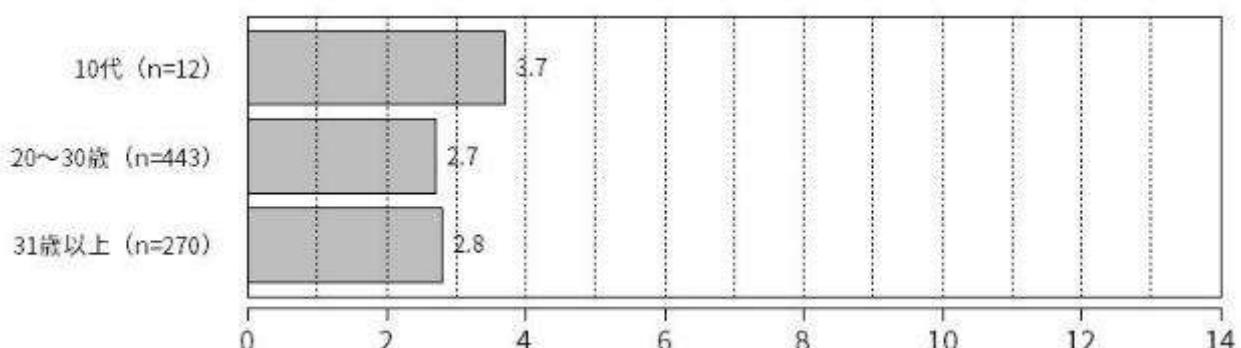


図98. 初めて親となった年齢別に見た、体や気持ちで気になること

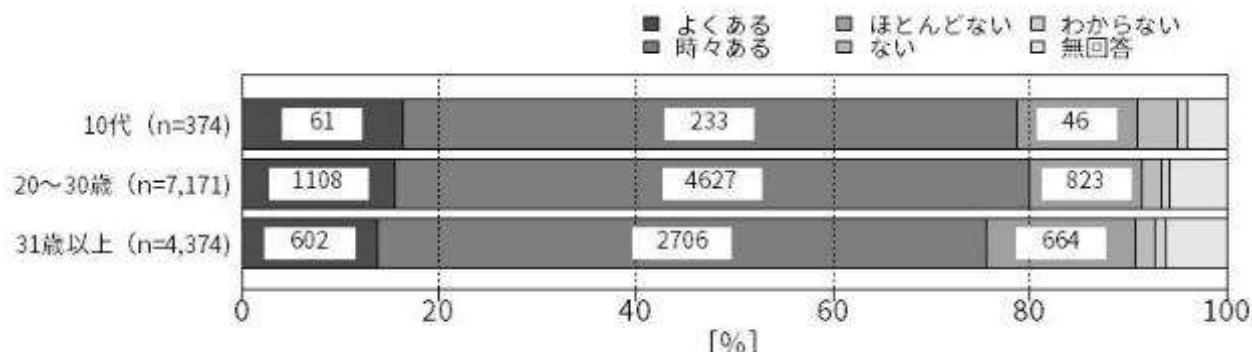
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産した人数は少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどを子どもに向ける頻度（問33×問38）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

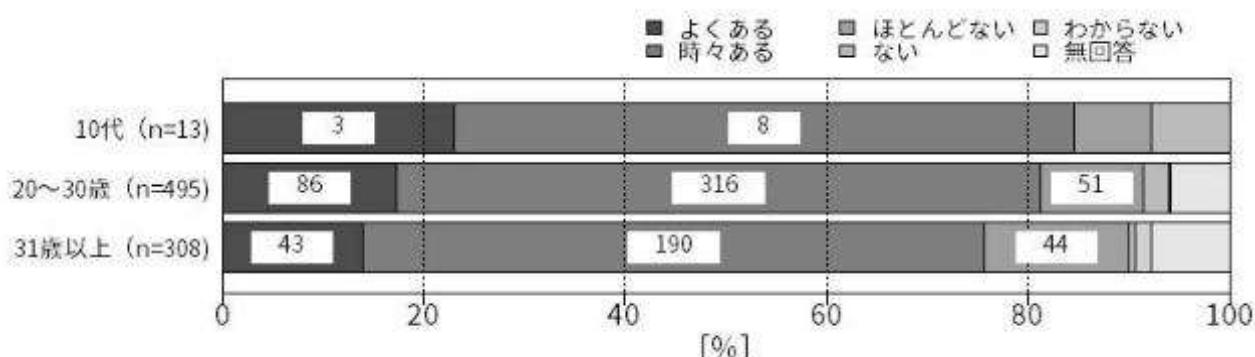


図99. 初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどを子どもに向ける

※母親が回答者の場合に限定

10代で出産した人数は少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（1）子どもをかわいいと思うか（問33×問31-1）  
 ※母親が回答者の場合に限定

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

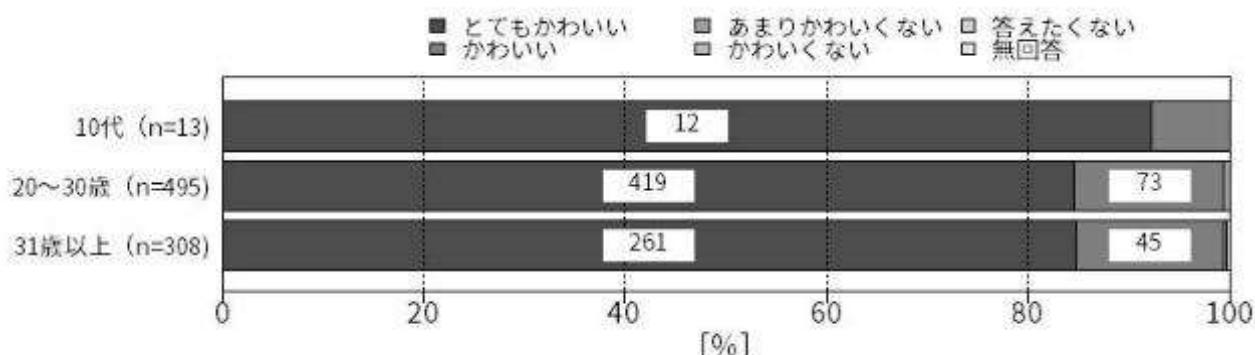


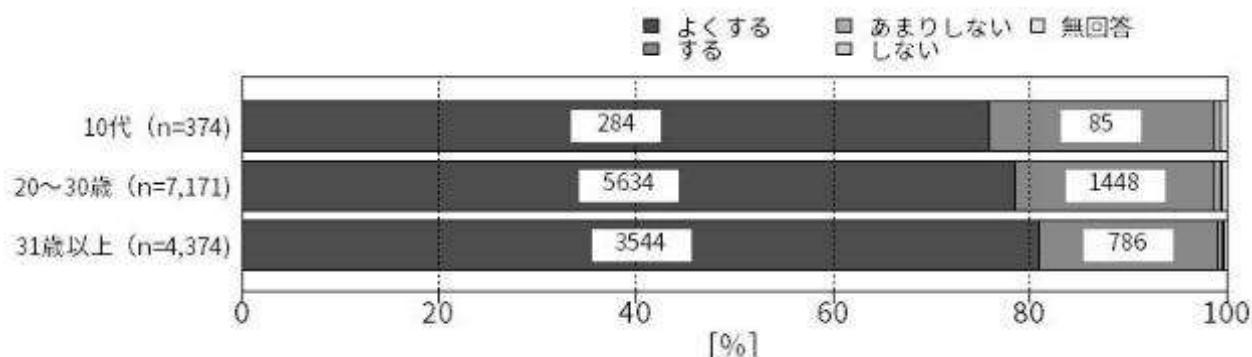
図100. 初めて親となった年齢別に見た、子との関係（1）子どもをかわいいと思うか  
 ※母親が回答者の場合に限定

10代で出産した人数は少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、子どもの会話（問33×問31-2）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

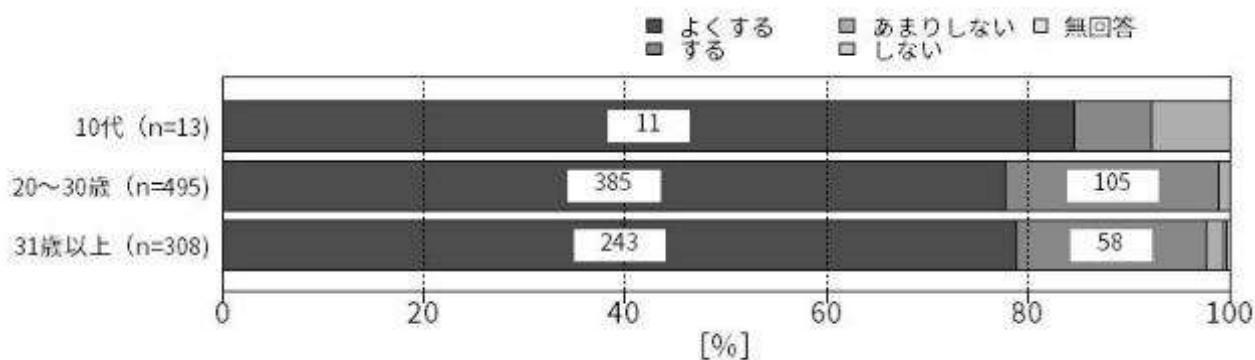


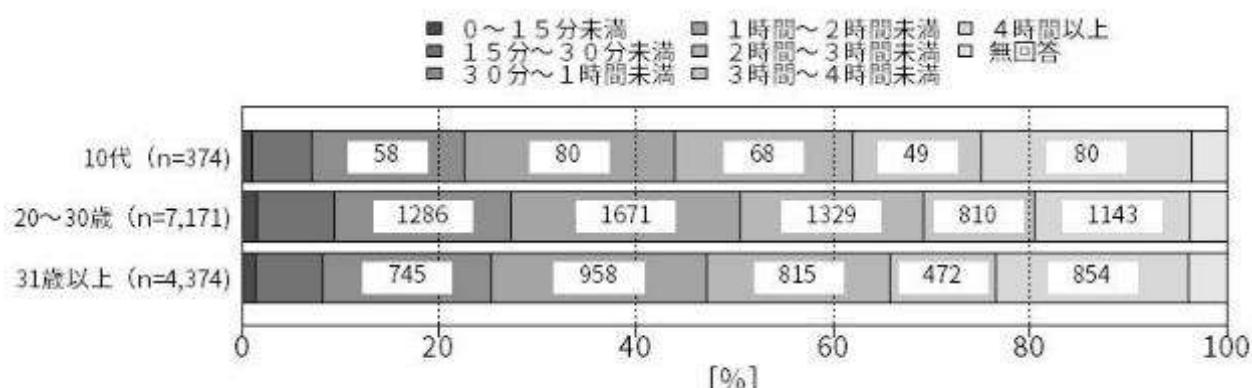
図101. 初めて親となった年齢別に見た、子どもの会話（2）

※母親が回答者の場合に限定

10代で出産した人数は少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、子どもの関係（3）子どもと一緒にいる時間（平日）  
 （問33×問31-3-平日）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

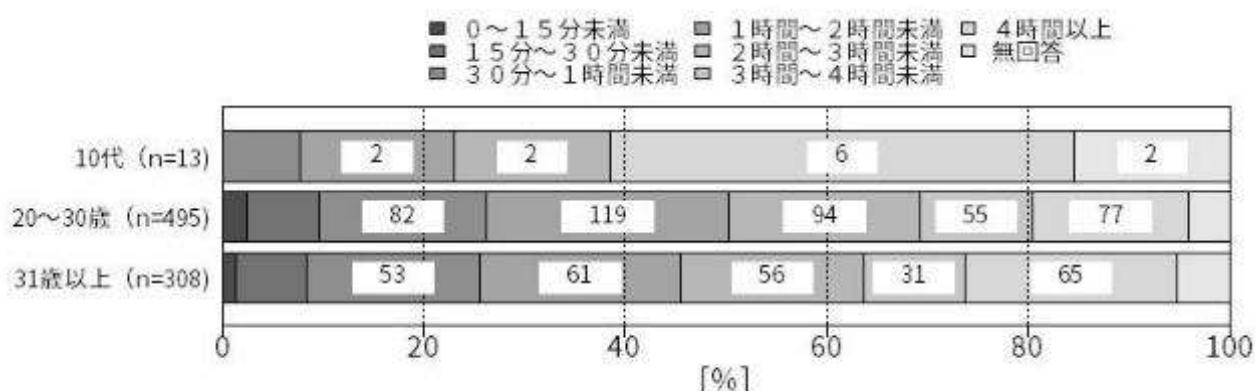
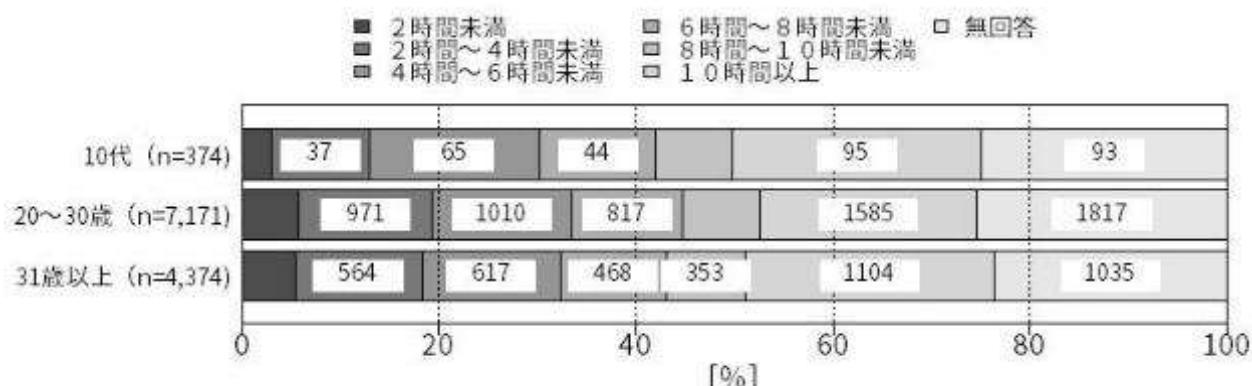


図102. 初めて親となった年齢別に見た、子どもの関係（3）子どもと一緒にいる時間（平日）  
 ※母親が回答者の場合に限定

10代で出産した人数は少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、子どもの関係（3）子どもと一緒にいる時間（休日）  
 （問33×問31-3-休日）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

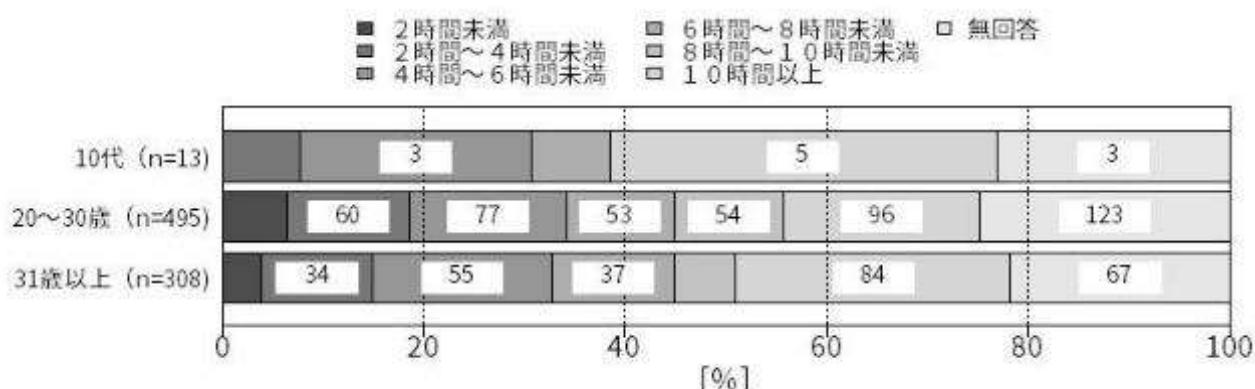
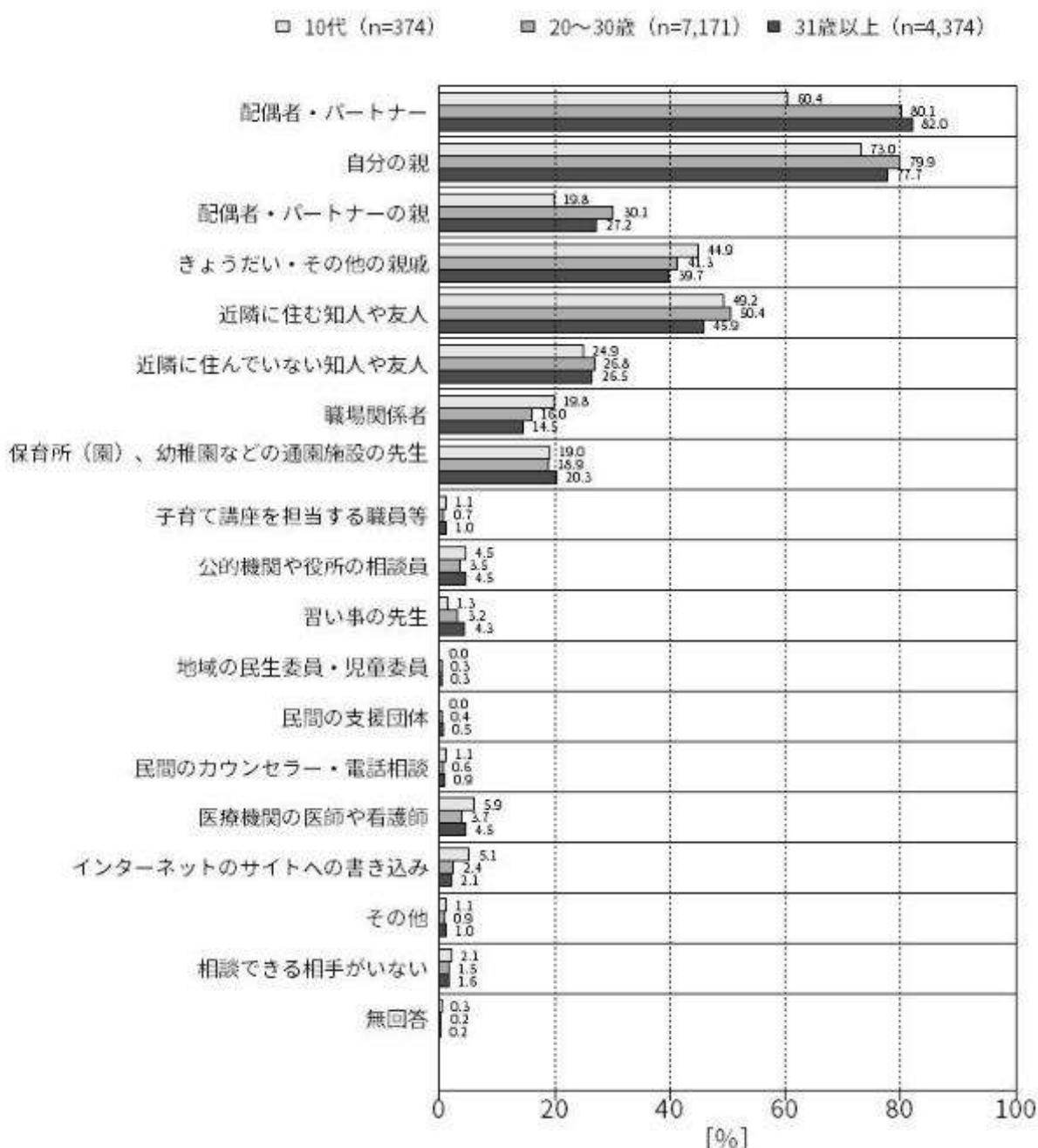


図103. 初めて親となった年齢別に見た、子どもの関係（3）子どもと一緒にいる時間（休日）  
 ※母親が回答者の場合に限定

10代で出産した人数は少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、相談相手（問33×問35）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

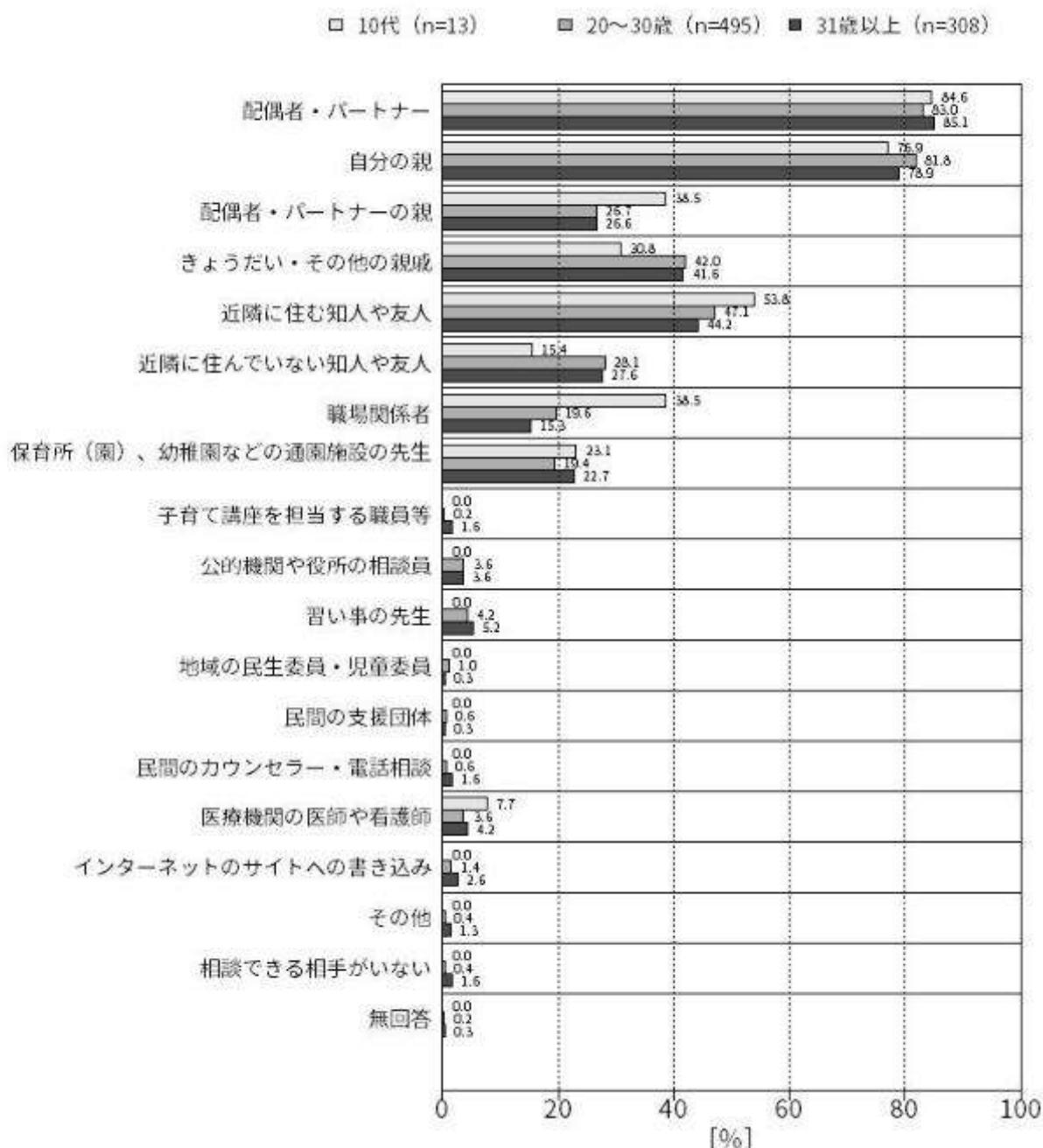


図 104. 初めて親となった年齢別に見た、相談相手

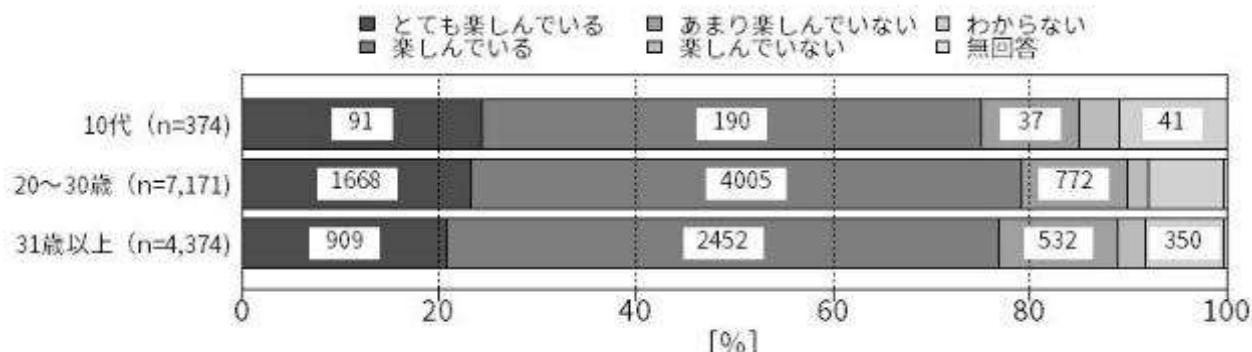
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産した人数は少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる（問33×問36-1）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

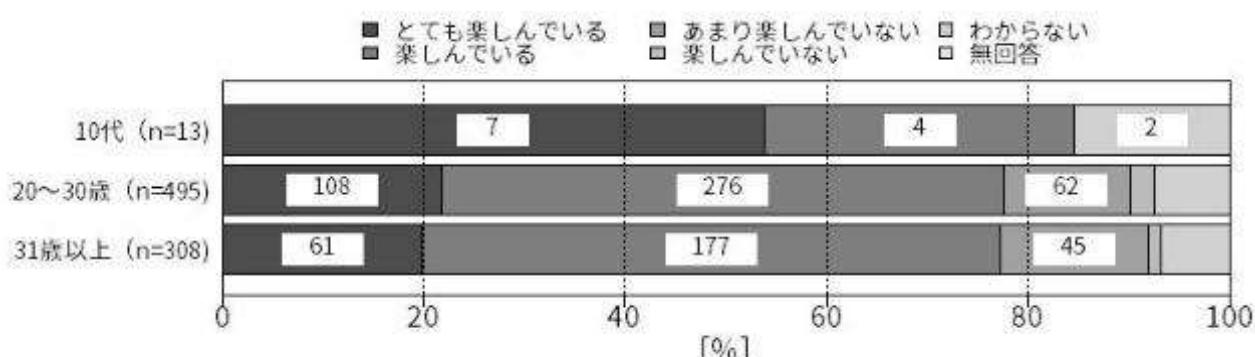


図105. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる

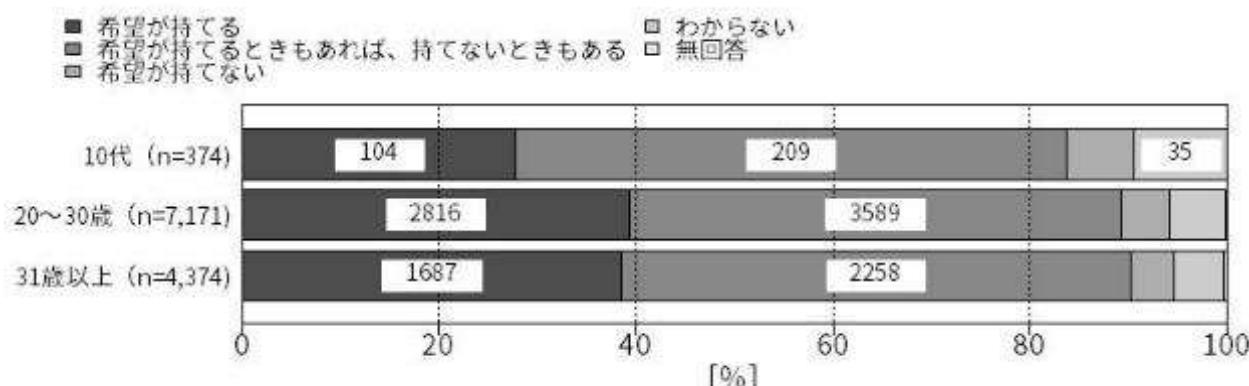
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産した人数は少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（2）将来への希望（問33×問36-2）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

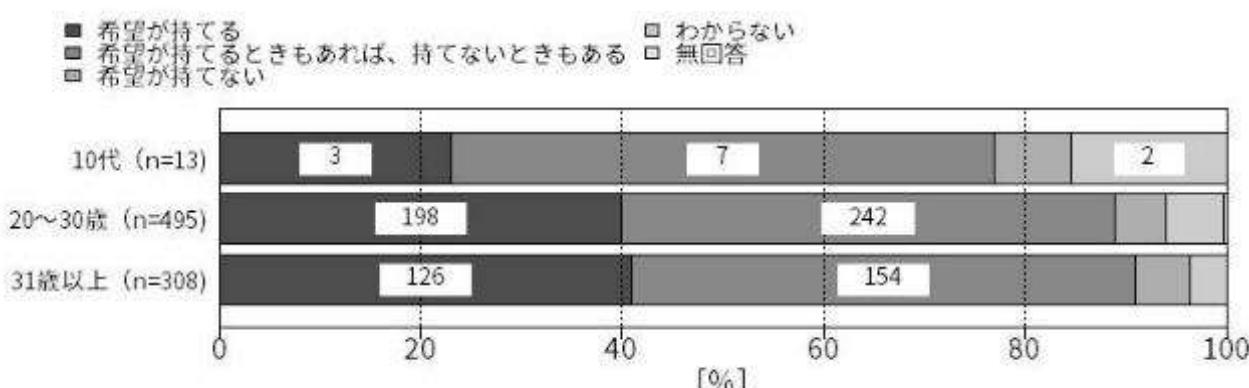


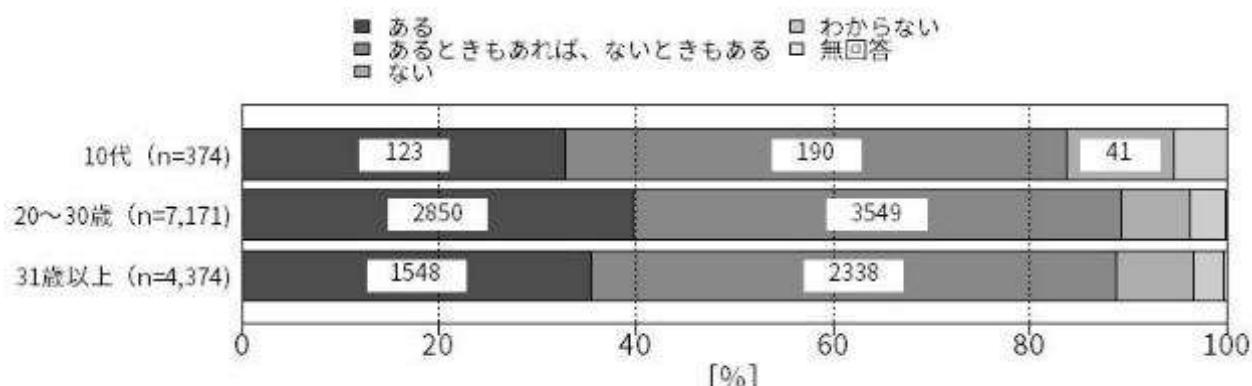
図106. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（2）将来への希望

※母親が回答者の場合に限定

10代で出産した人数は少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの  
 (問33×問36-3) ※母親が回答者の場合に限定

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

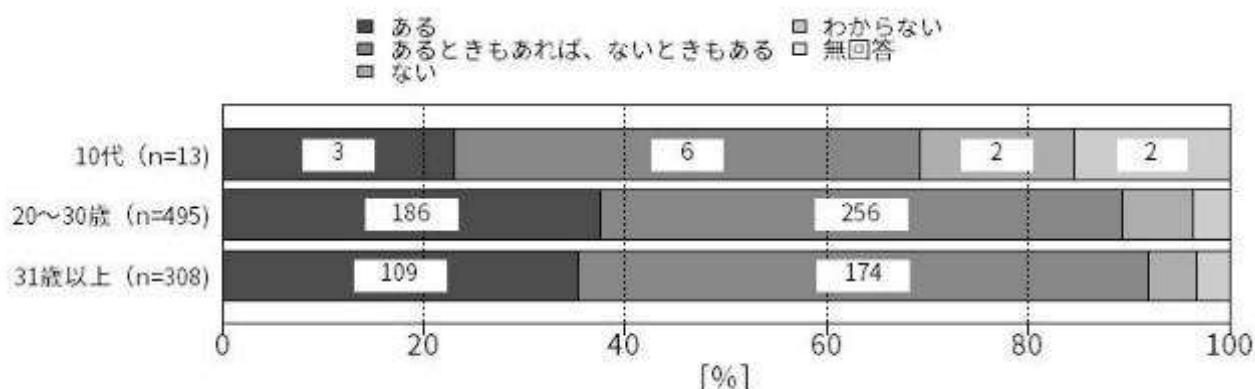


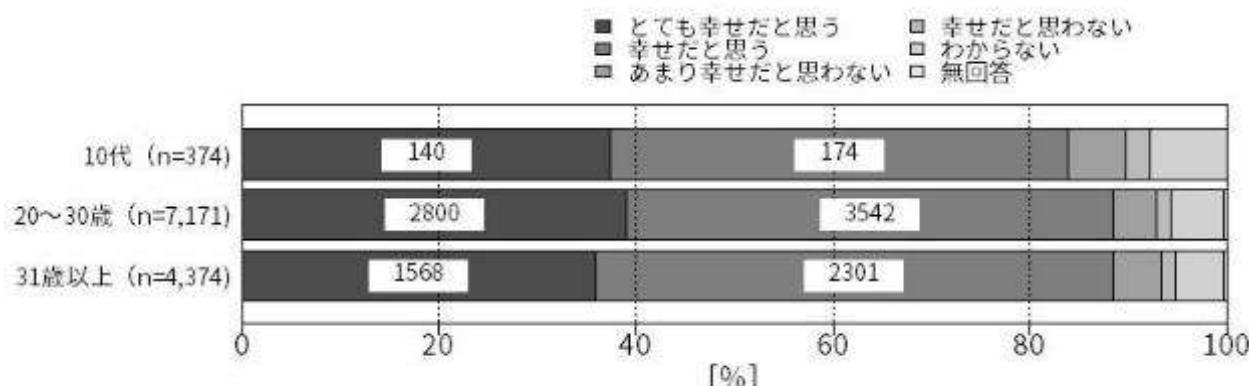
図107. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの  
 ※母親が回答者の場合に限定

10代で出産した人数は少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（4）幸せだと思う（問33×問36-4）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

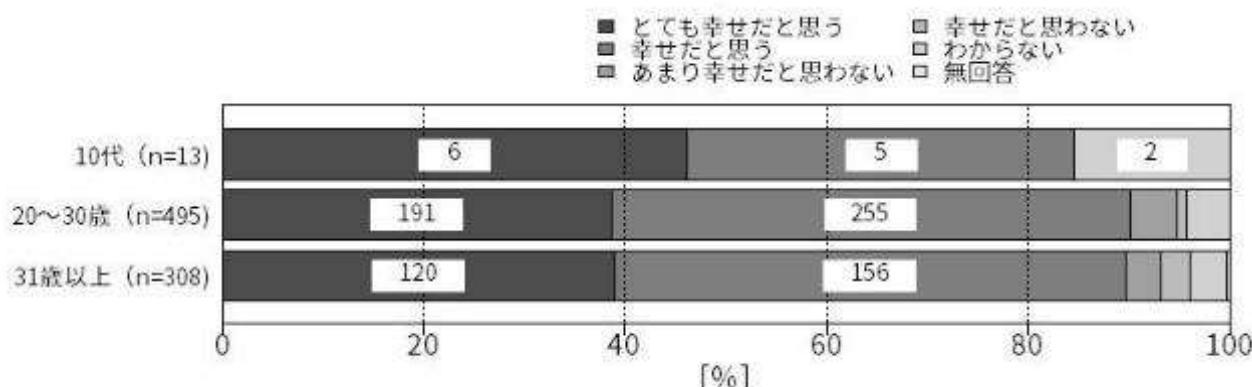


図108. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（4）幸せだと思う

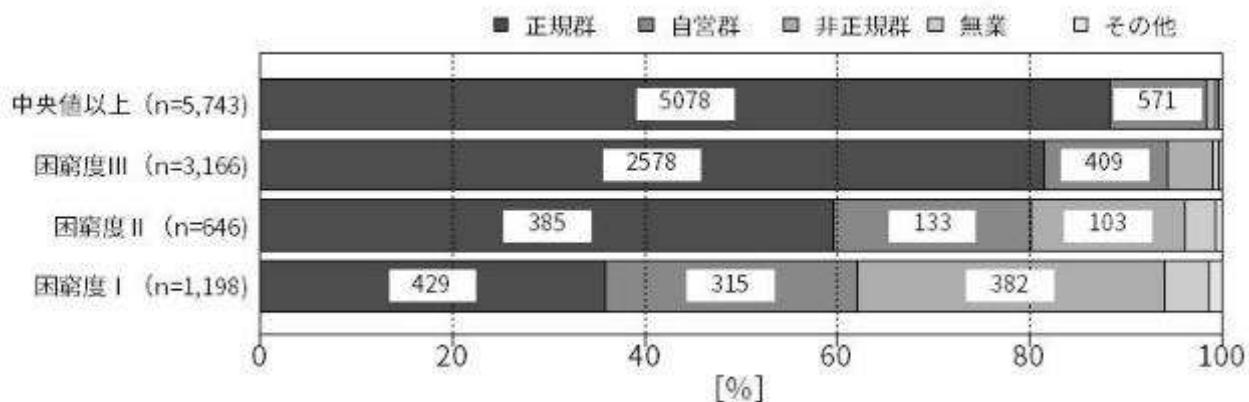
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産した人数は少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

### 3-2. 雇用

#### 困窮度別に見た、就労状況（問8）

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

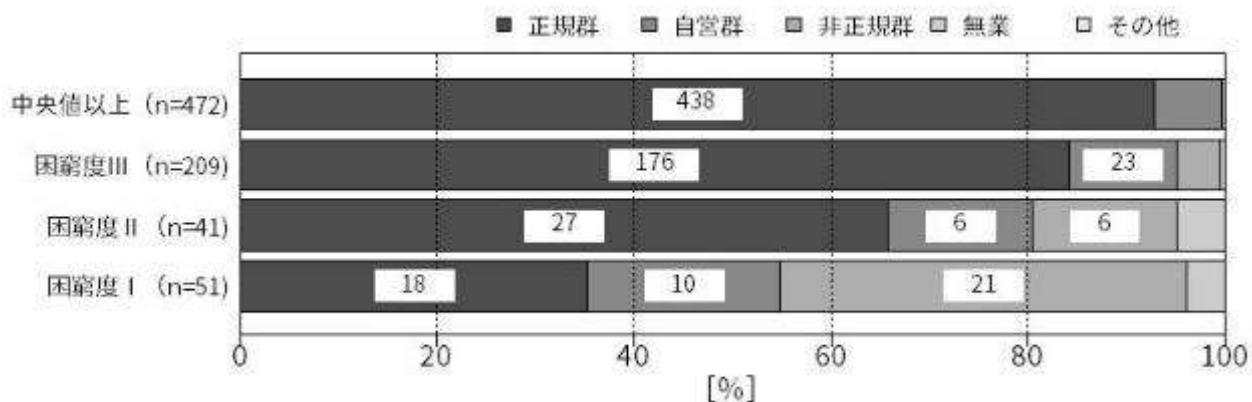
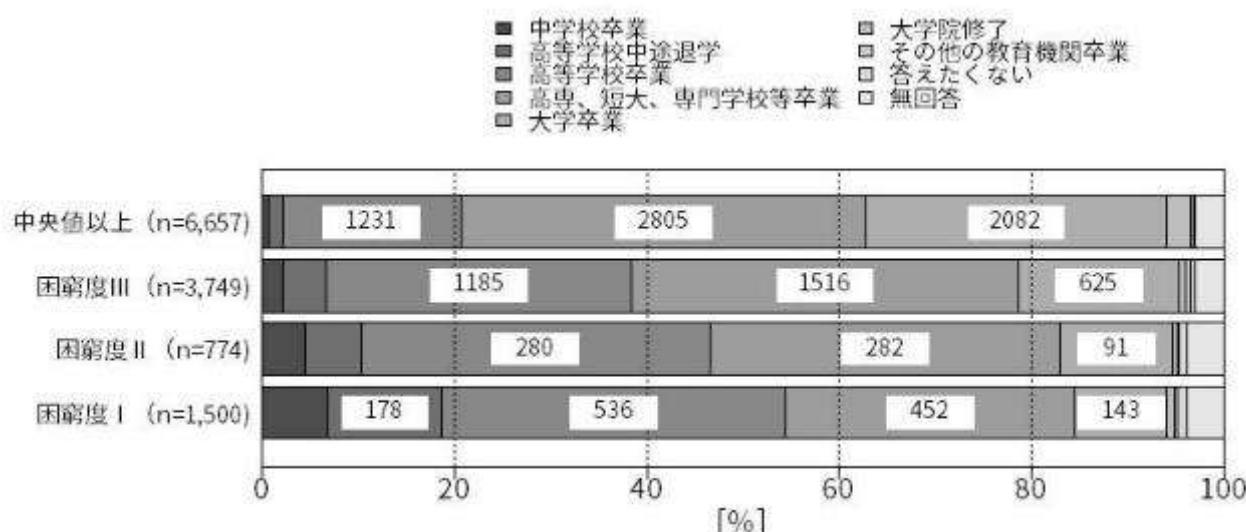


図109. 困窮度別に見た、就労状況

困窮度が高まるにつれて、正規群の割合が減り、非正規群・自営群の割合が高まる傾向にあった。困窮度I群においては、自営群は19.6%、非正規群は41.2%であった。

困窮度別に見た、母親の最終学歴（問7-母）

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

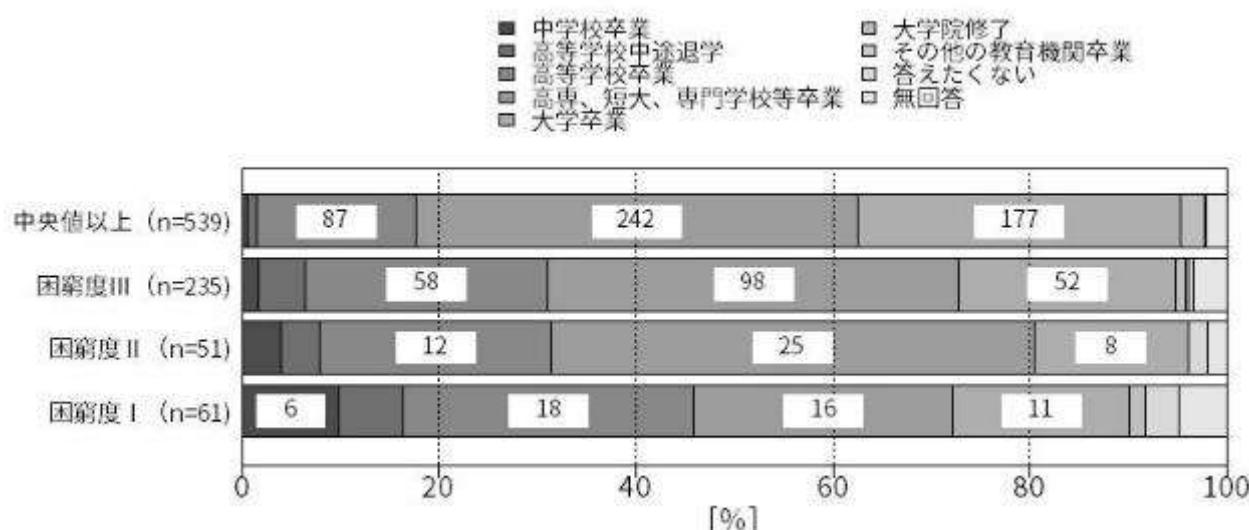
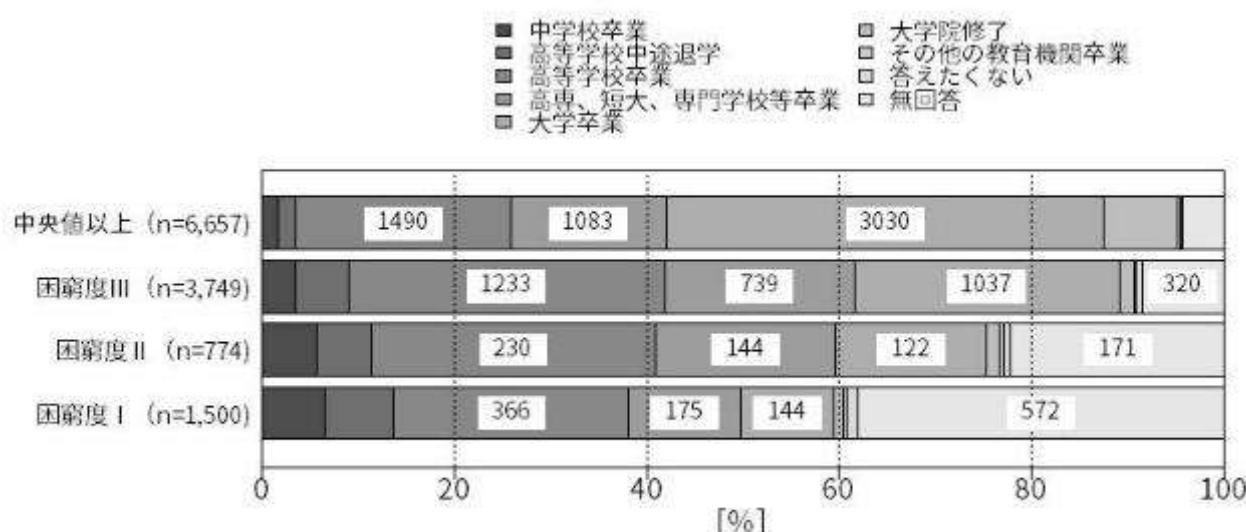


図 110. 困窮度別に見た、母親の最終学歴

困窮度が厳しくなるにしたがって、中卒と高校中退の割合が増える傾向にあった。困窮度I群で「中学校卒業」は9.8%、「高等学校中途退学」は6.6%であった。

困窮度別に見た、父親の最終学歴（問7-父）

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

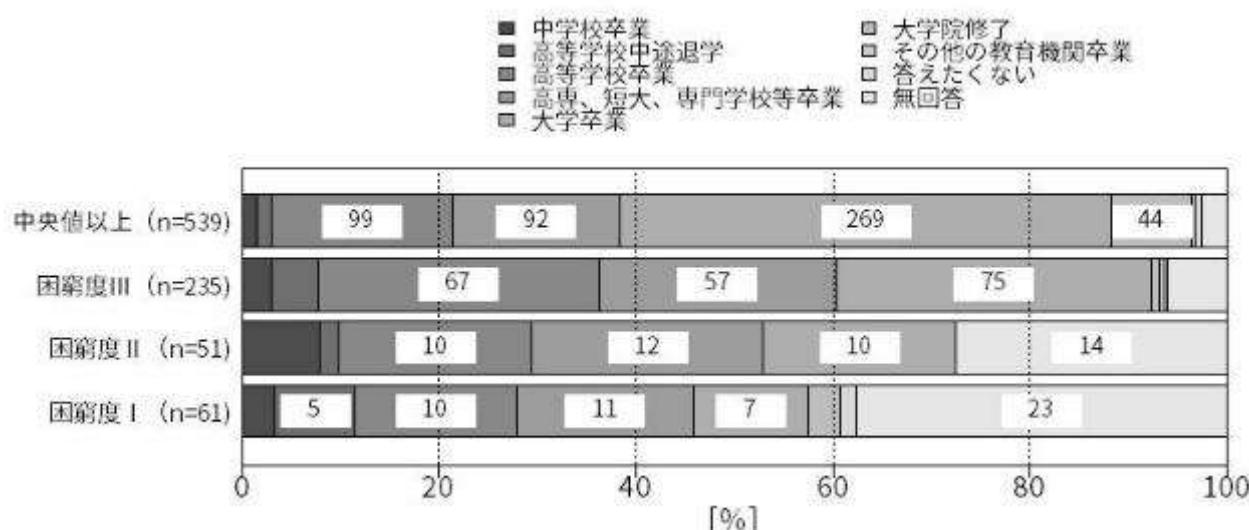
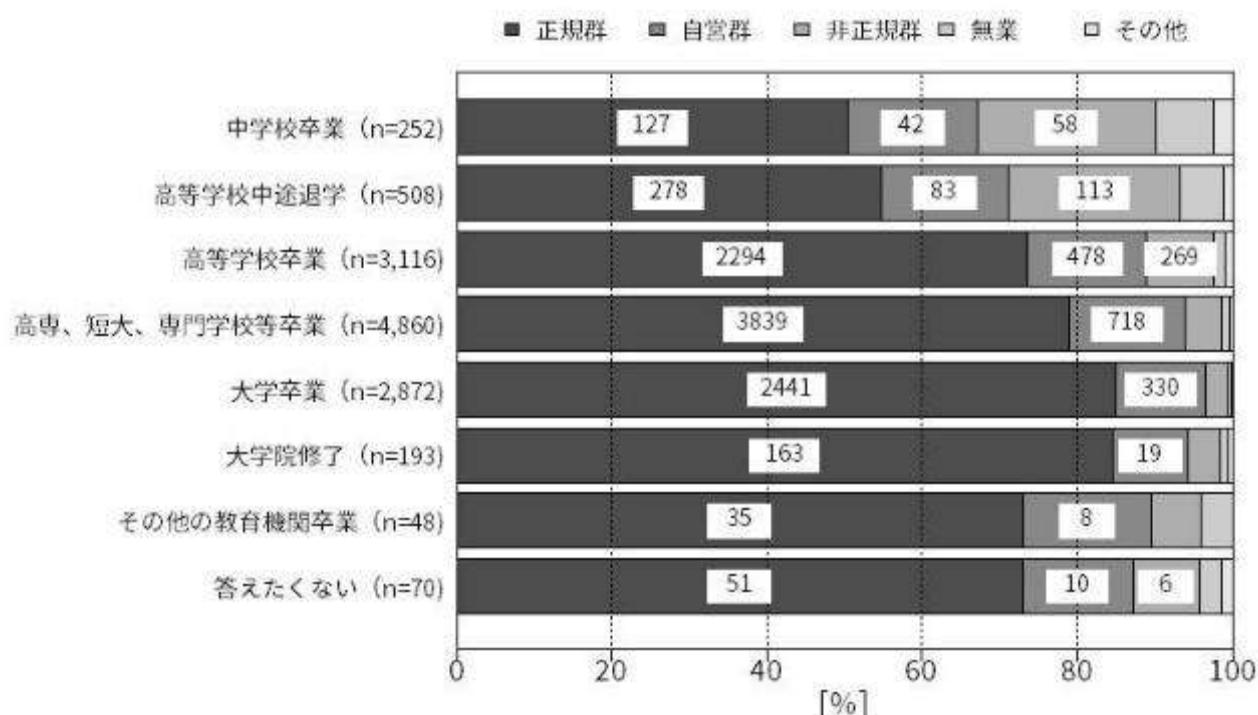


図 111. 困窮度別に見た、父親の最終学歴

困窮度が厳しくなるにしたがって、中卒と高校中退の割合が増える傾向にあった。困窮度I群で「中学校卒業」は3.3%、「高等学校中途退学」は8.2%であった。

母親の最終学歴別に見た、就労状況（問7×問8）

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

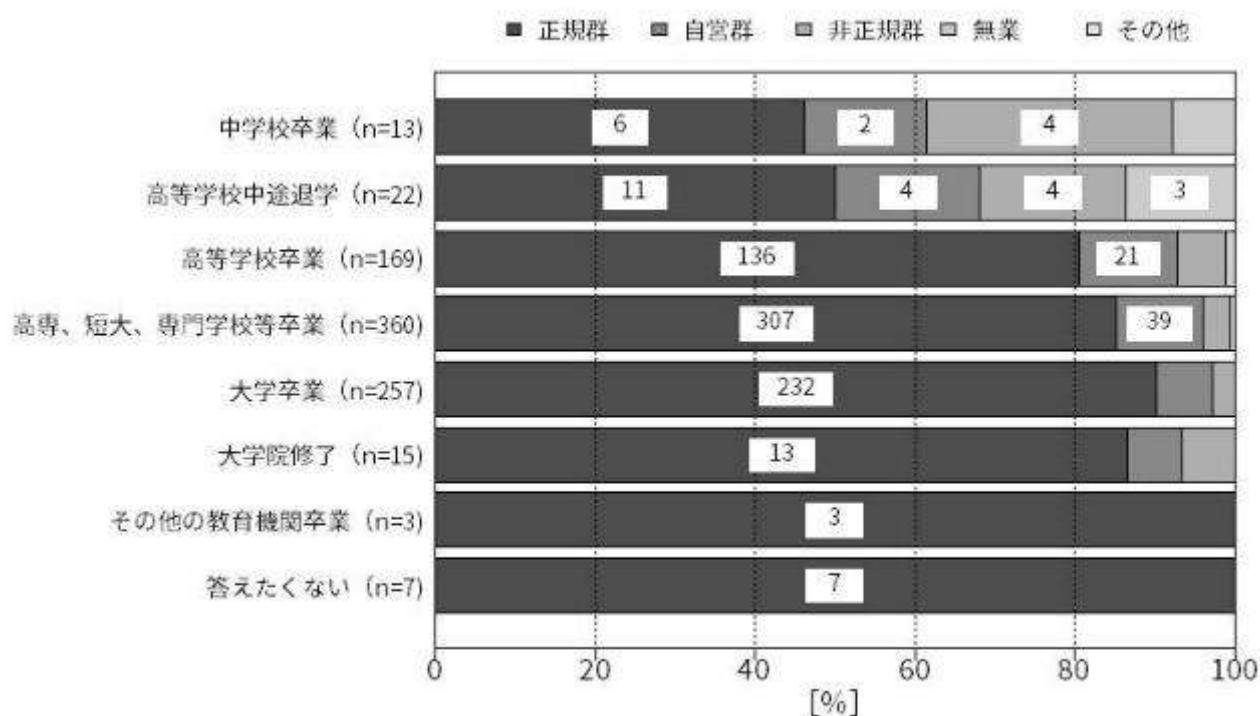
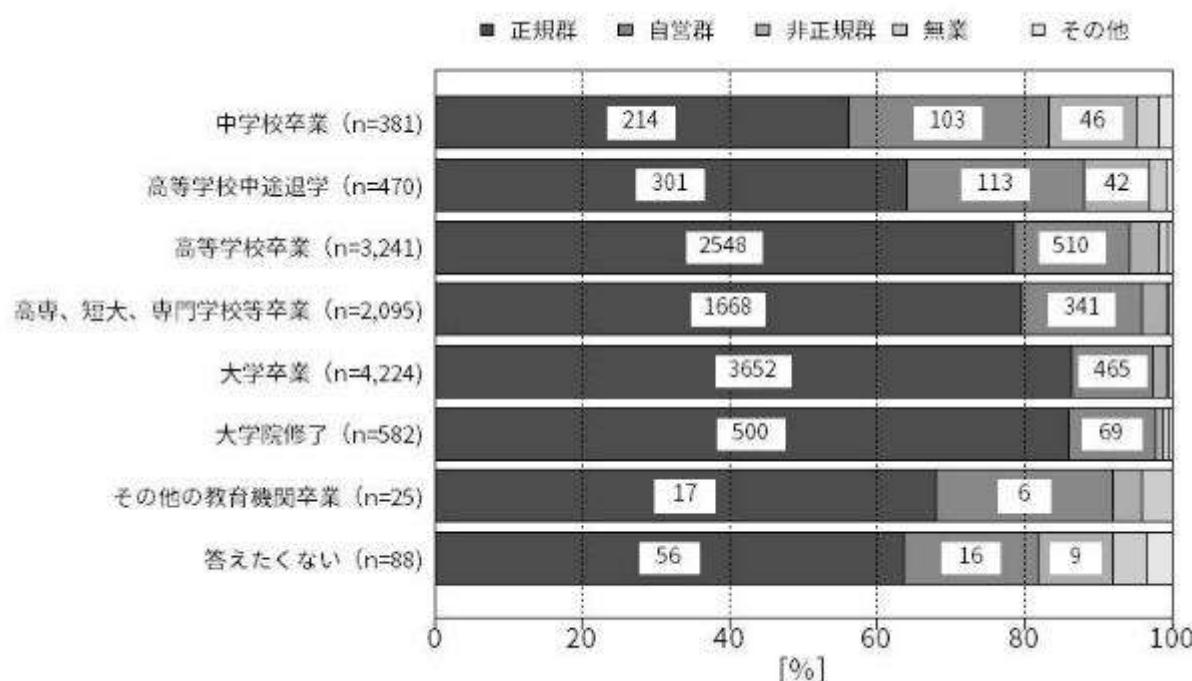


図112. 母親の最終学歴別に見た、就労状況

中学校卒業では、正規群の割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、正規群の割合が高く、非正規群の割合が低くなる。

父親の最終学歴別に見た、就労状況（問7×問8）

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

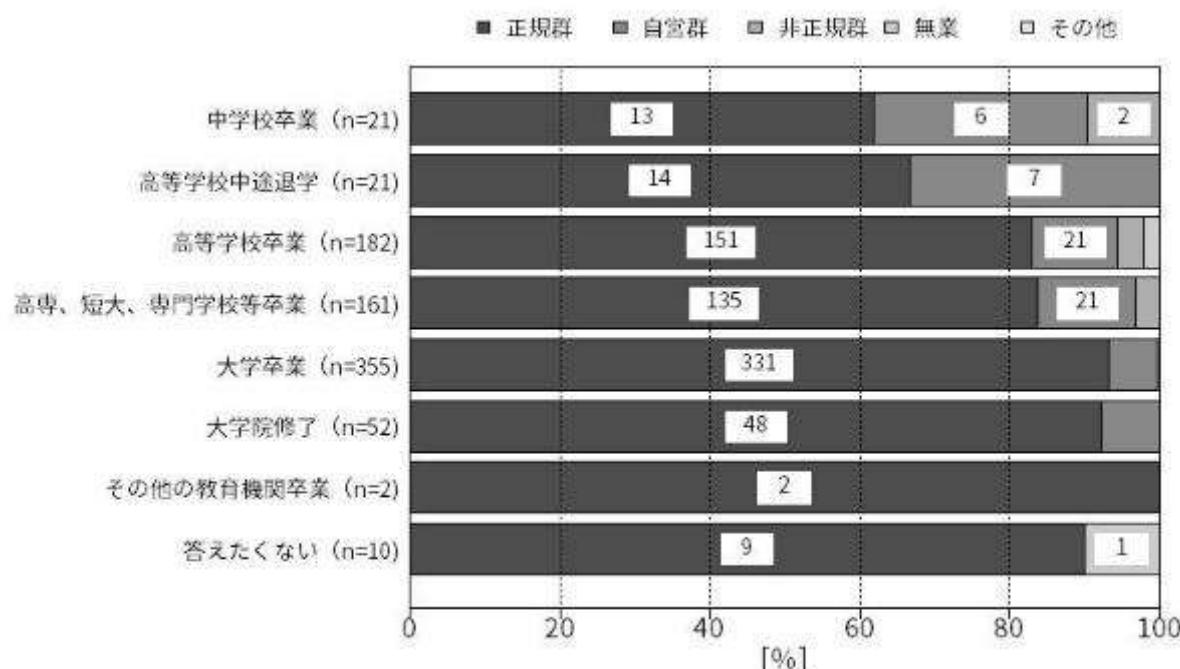
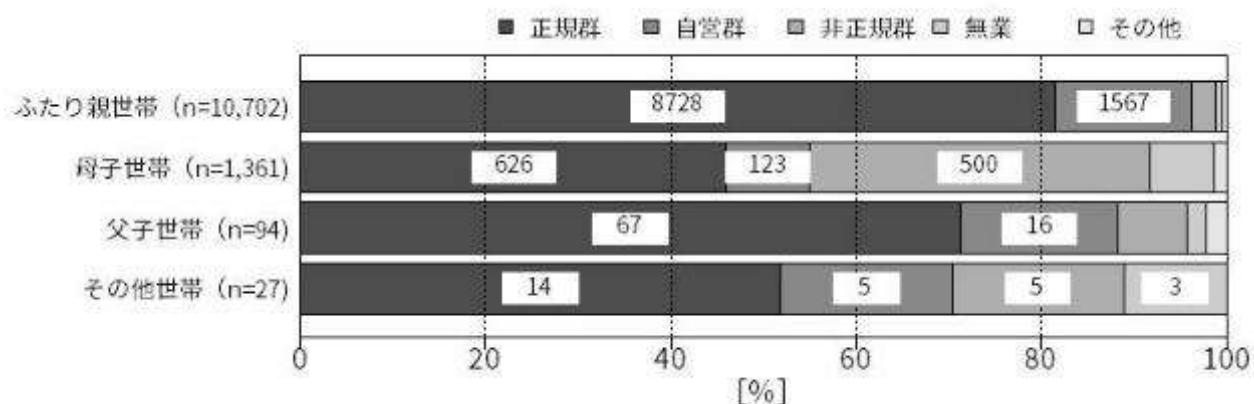


図113. 父親の最終学歴別に見た、就労状況

中学校卒業では、正規群の割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、正規群の割合が高く、非正規群の割合が低くなる。

世帯構成別に見た、就労状況（問1×問8）

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

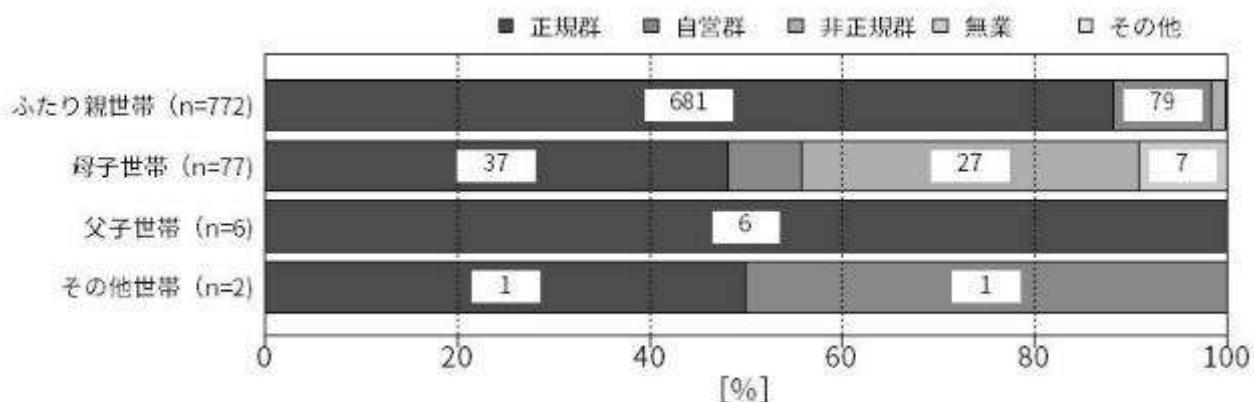
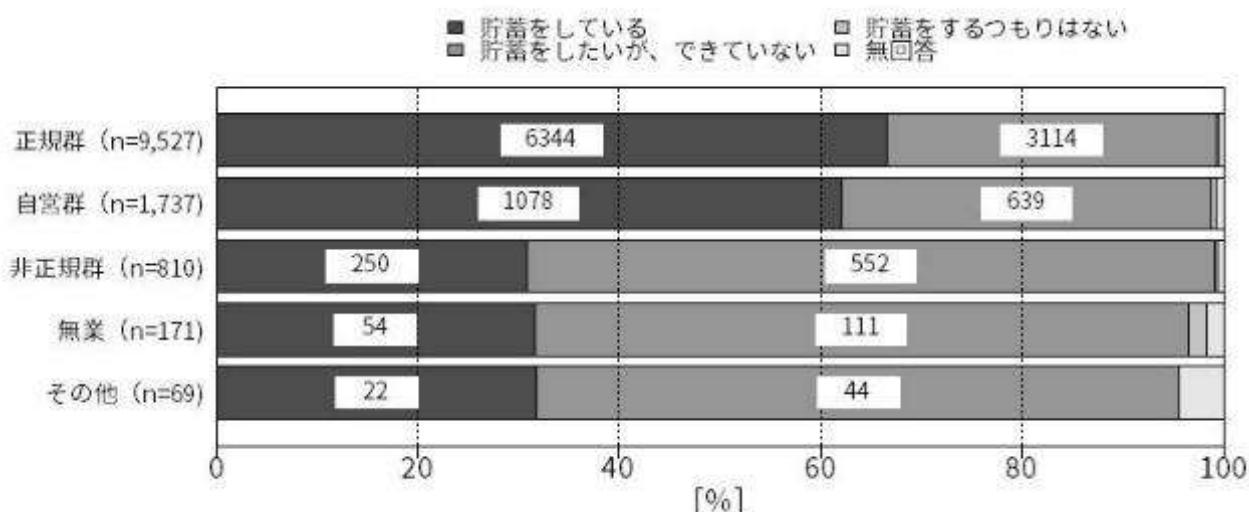


図114. 世帯構成別に見た、就労状況

ふたり親世帯では、正規群の割合が高かった。母子世帯では、正規群の割合が48.1%であった。

就労状況別に見た、子どものための貯蓄（問8×問5-3）

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

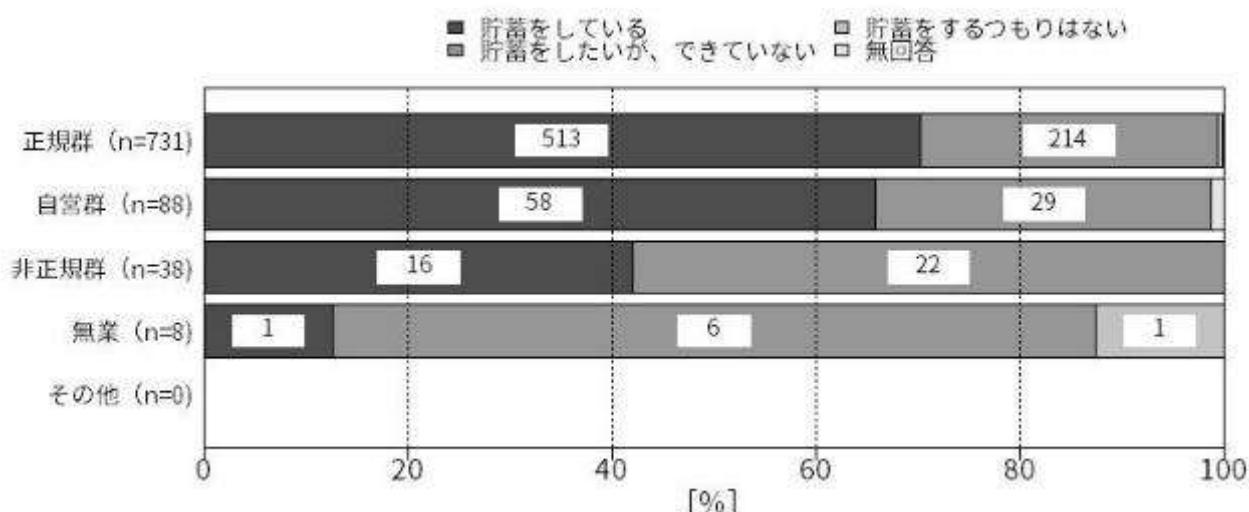
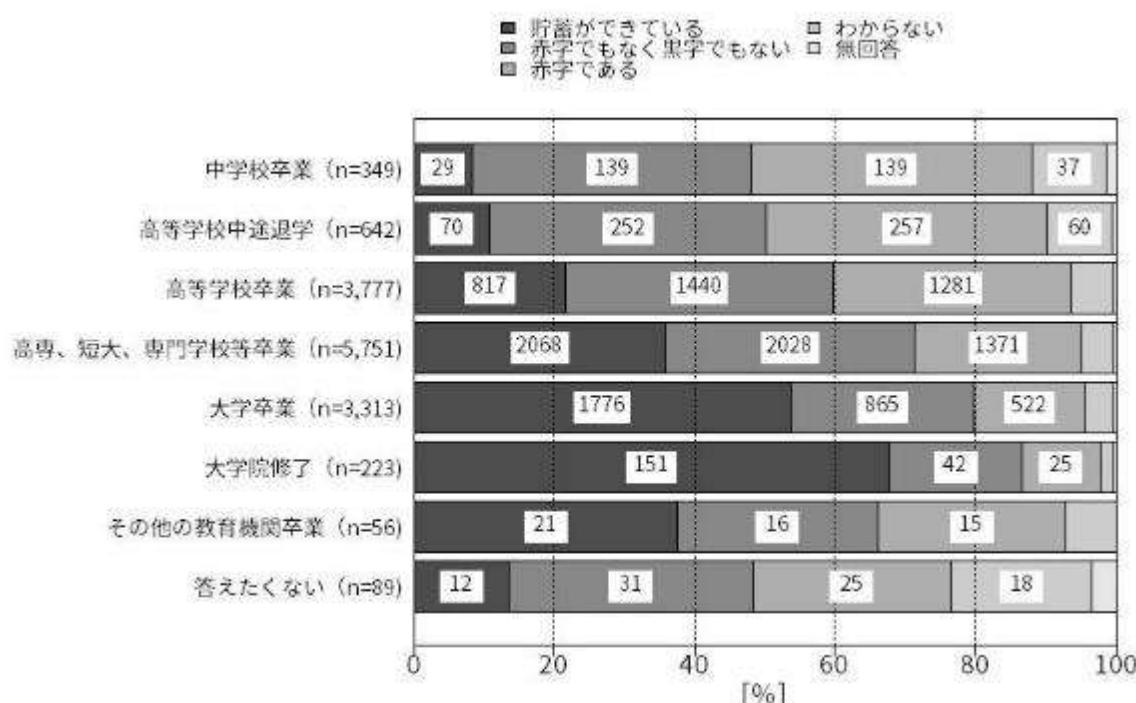


図 115. 就労状況別に見た、子どものための貯蓄

正規群では貯蓄ができている割合が高く、非正規群では貯蓄できている割合が低くなる傾向にあり、42.1%であった。

母親の最終学歴別に見た、家計状況（問7×問5-1）

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

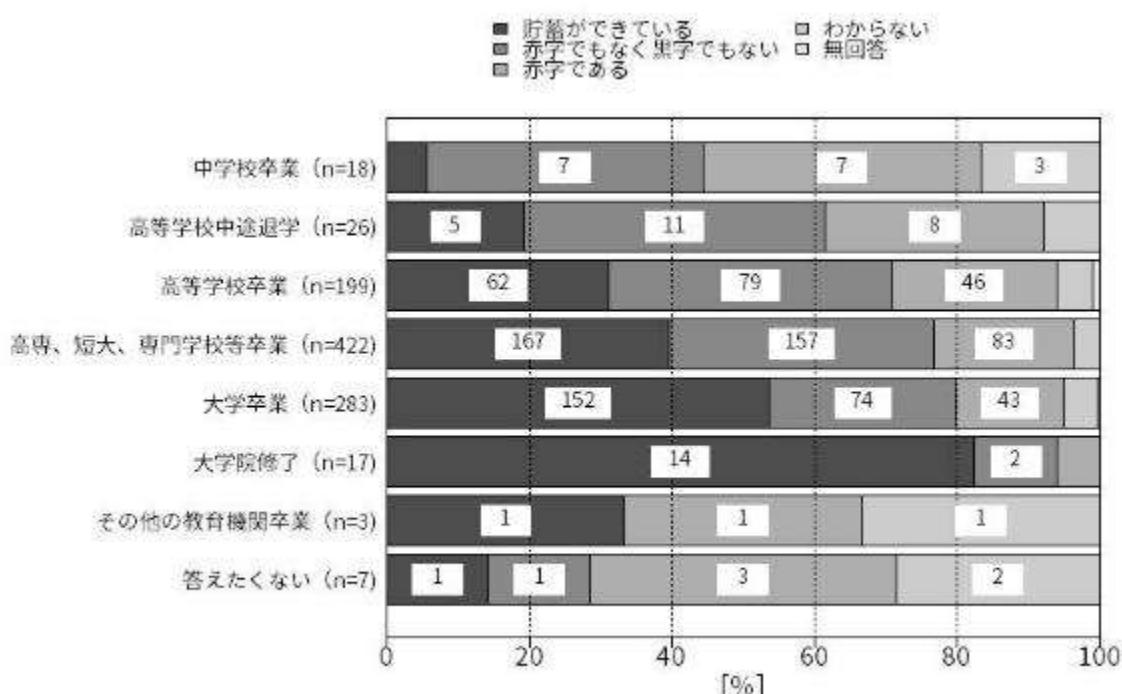
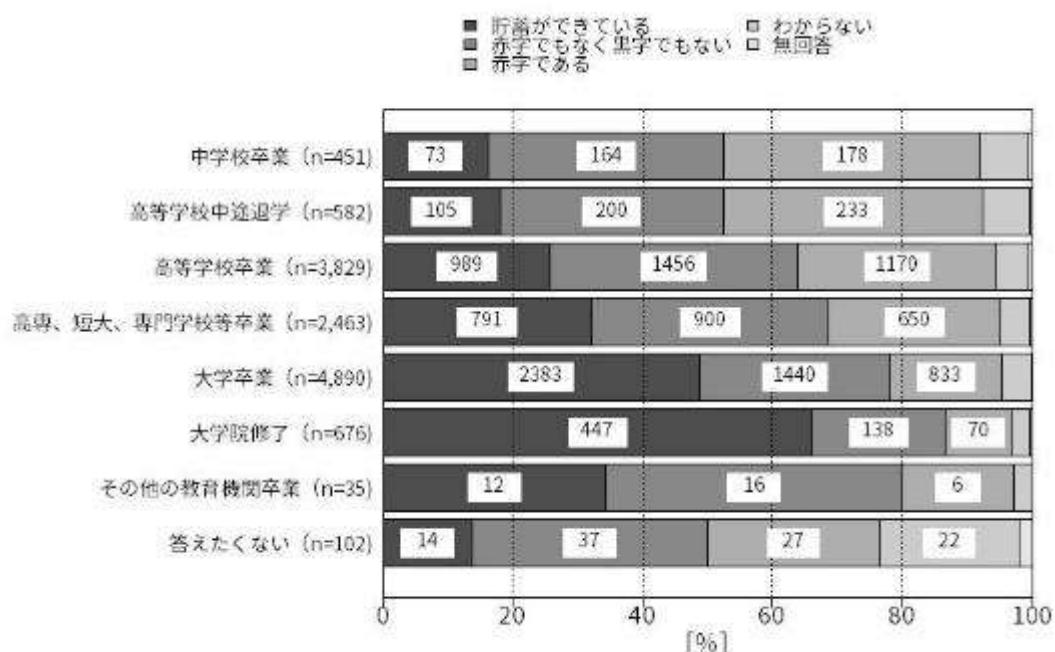


図116. 母親の最終学歴別に見た、家計状況

中学校卒業、高等学校中途退学では、貯蓄ができるている割合が低い傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができるている割合が高く、赤字である割合が低くなる。

父親の最終学歴別に見た、家計状況（問7×問5-1）

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

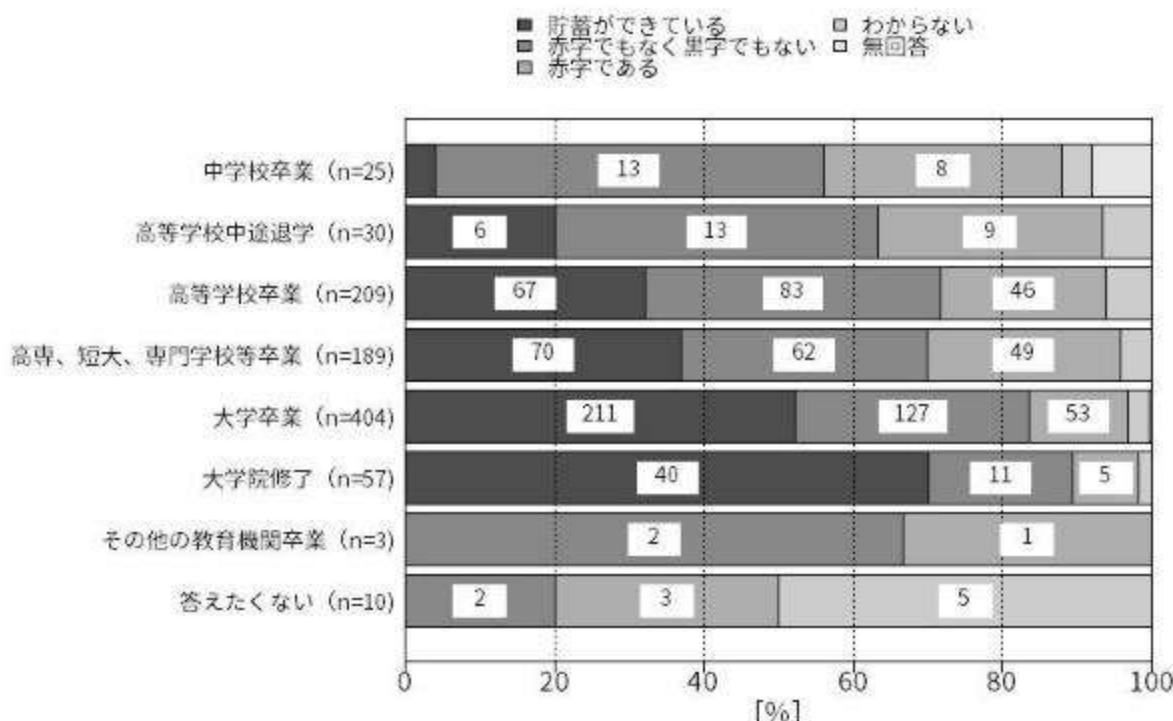
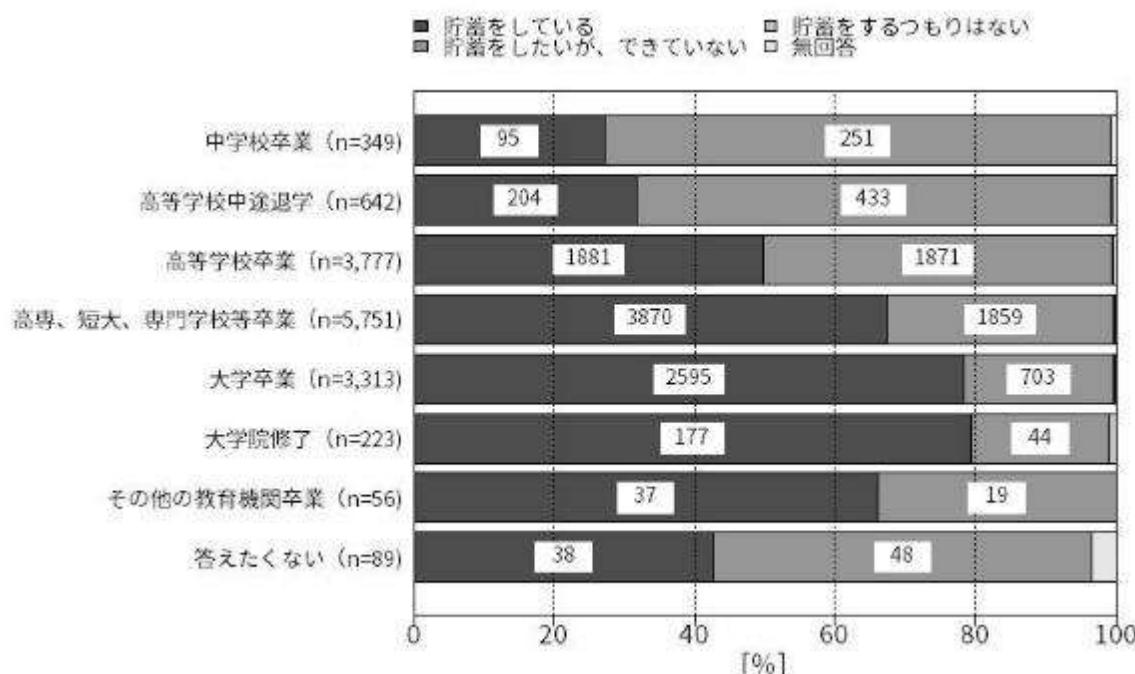


図117. 父親の最終学歴別に見た、家計状況

中学校卒業、高等学校中途退学では、貯蓄ができている割合が低い傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高く、赤字である割合が低くなる。

母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問7×問5-3）

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

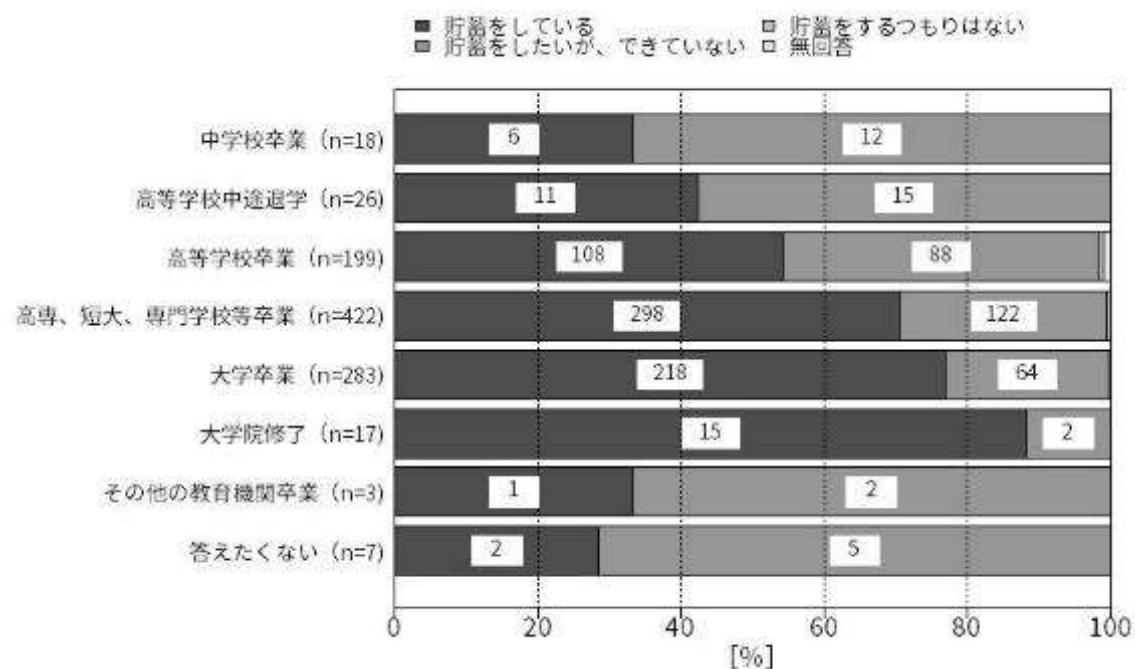
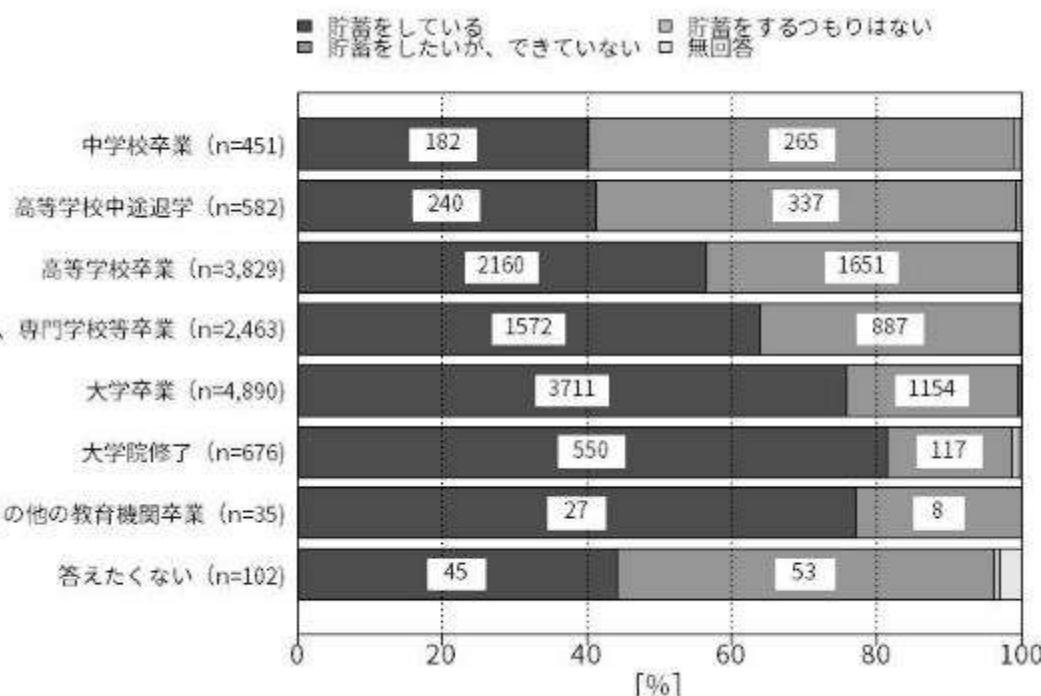


図118. 母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

中学校卒業、高等学校中途退学では、子どものための貯蓄ができている割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高くなる。

父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問7×問5-3）

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

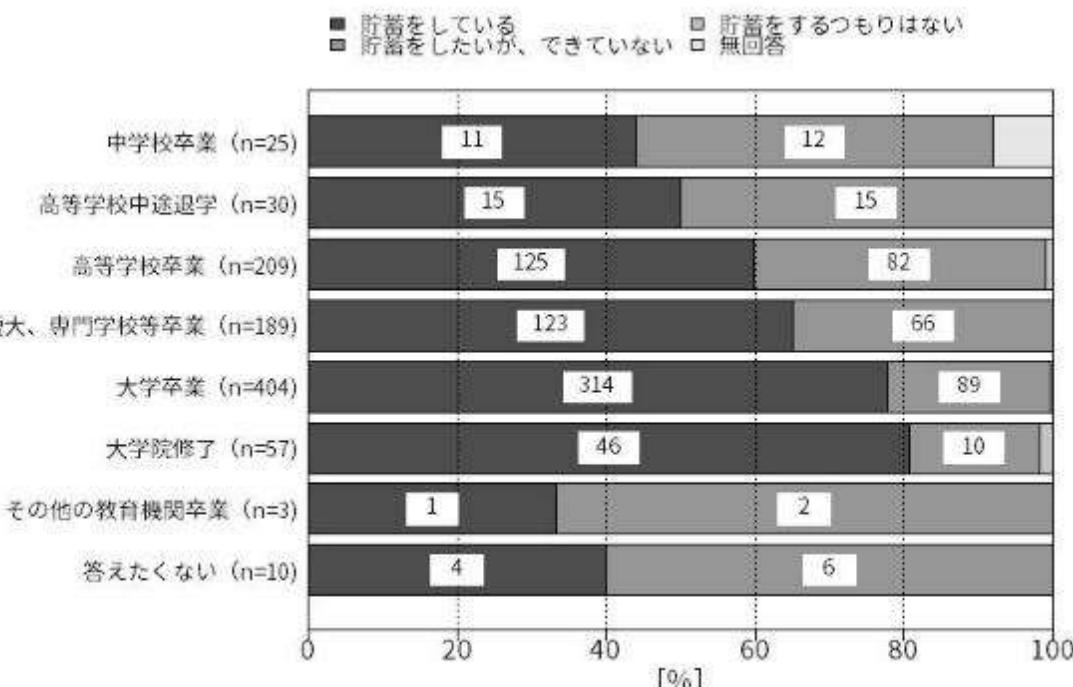


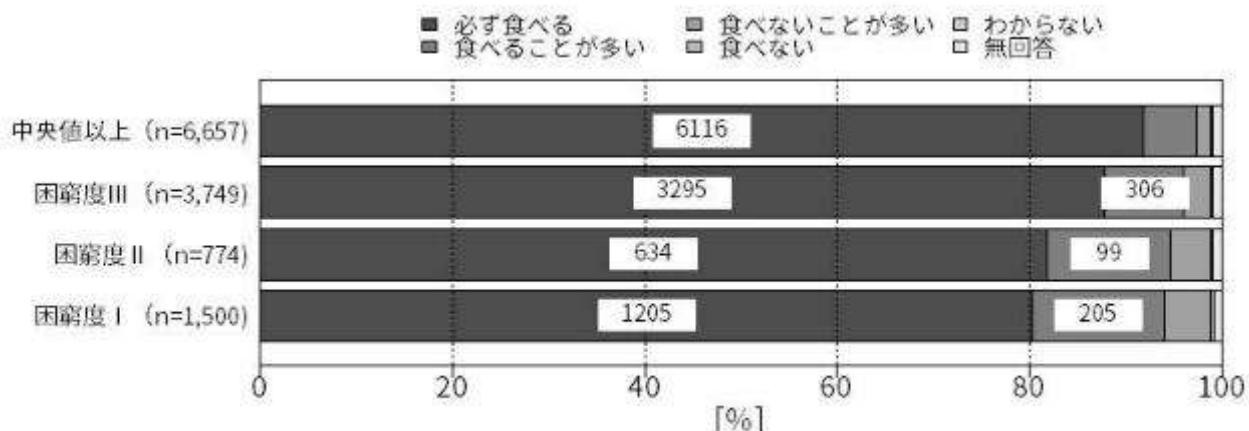
図119. 父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

中学校卒業、高等学校中途退学では、子どものために貯蓄ができている割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高くなる。

### 3-3. 健康

#### 困窮度別に見た、朝食の頻度（問17）

<大阪市24区>



<大阪市城東区>

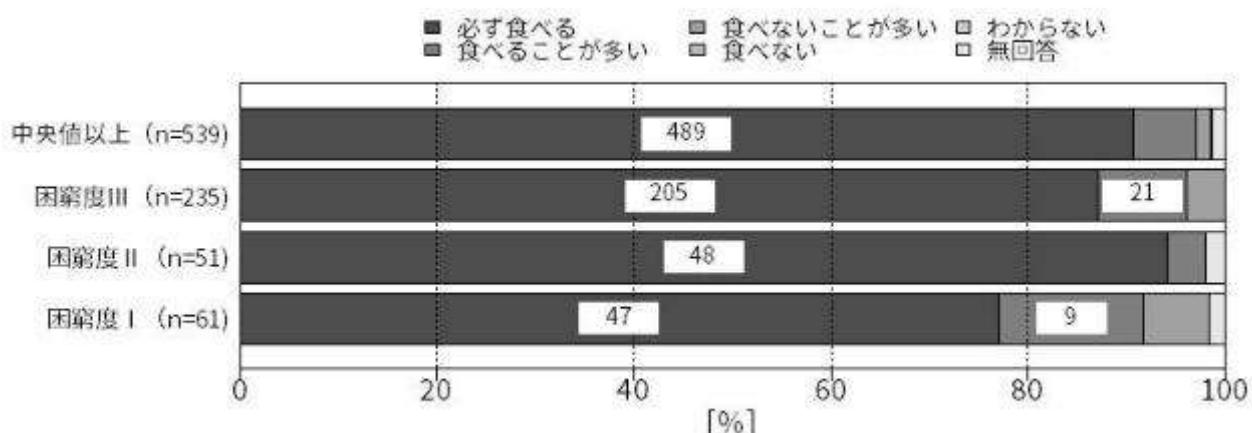
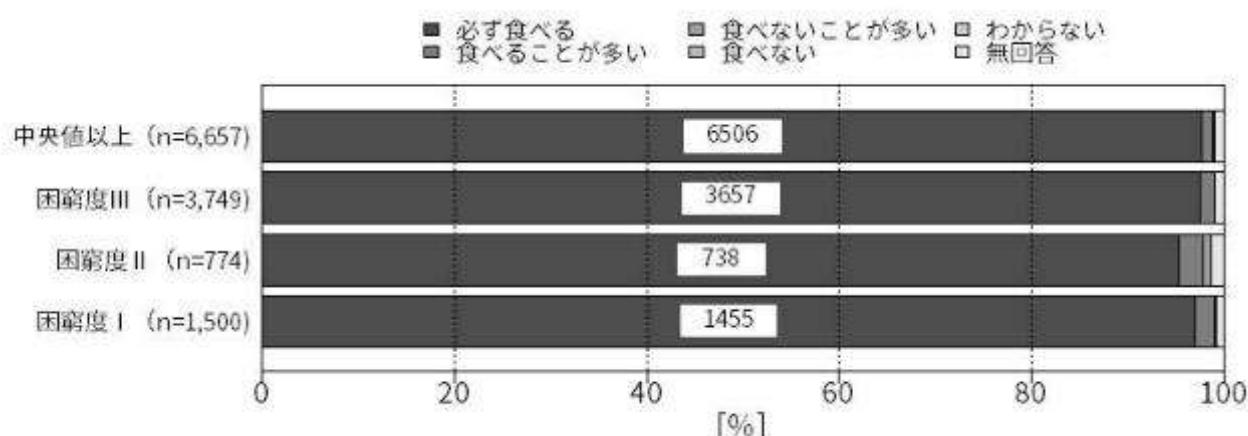


図120. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度が厳しくなるにしたがって、「必ず食べる」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度I群においては77.0%となっている。

困窮度別に見た、夕食の頻度（問 20）

<大阪市 24 区>



<大阪市城東区>

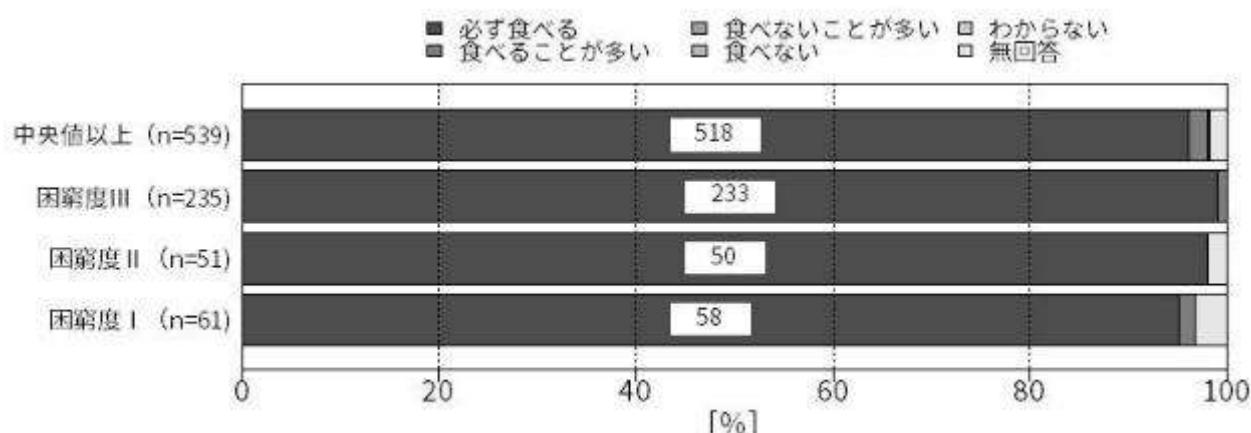
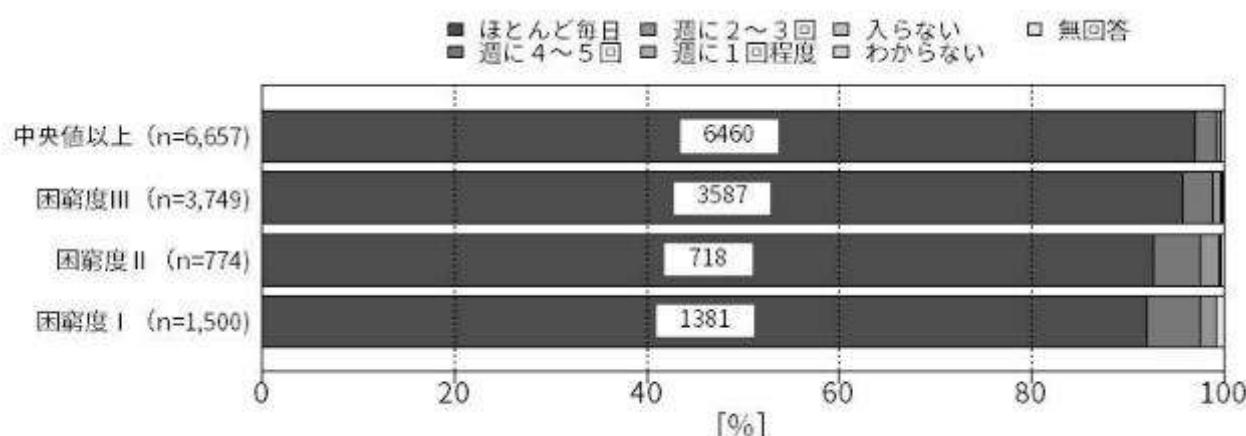


図 121. 困窮度別に見た、夕食の頻度

困窮度が厳しくなるにしたがって、「必ず食べる」の割合が低くなる傾向にある。

困窮度別に見た、入浴頻度（問 23）

<大阪市 24 区>



<大阪市城東区>

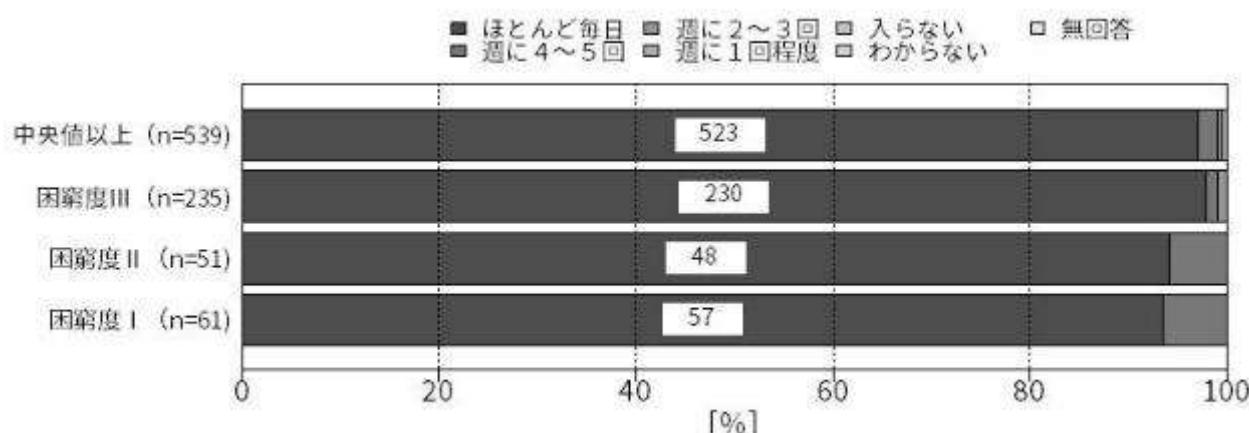
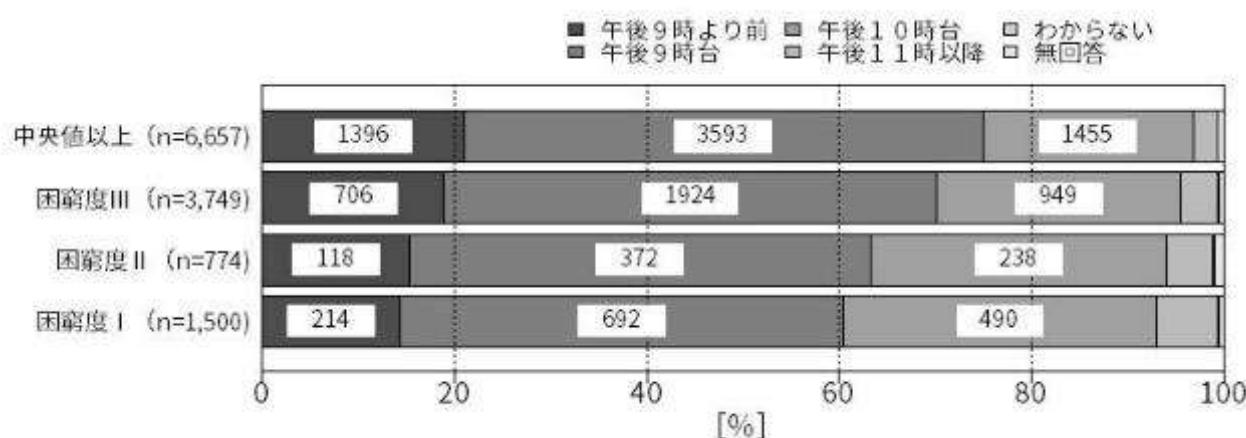


図 122. 困窮度別に見た、入浴頻度

困窮度が厳しくなるにしたがって、お風呂にほとんど毎日入る頻度が低くなる傾向にあり、困窮度 I 群においては 93.4% となっている。

困窮度別に見た、就寝時間（問 16）

<大阪市 24 区>



<大阪市城東区>

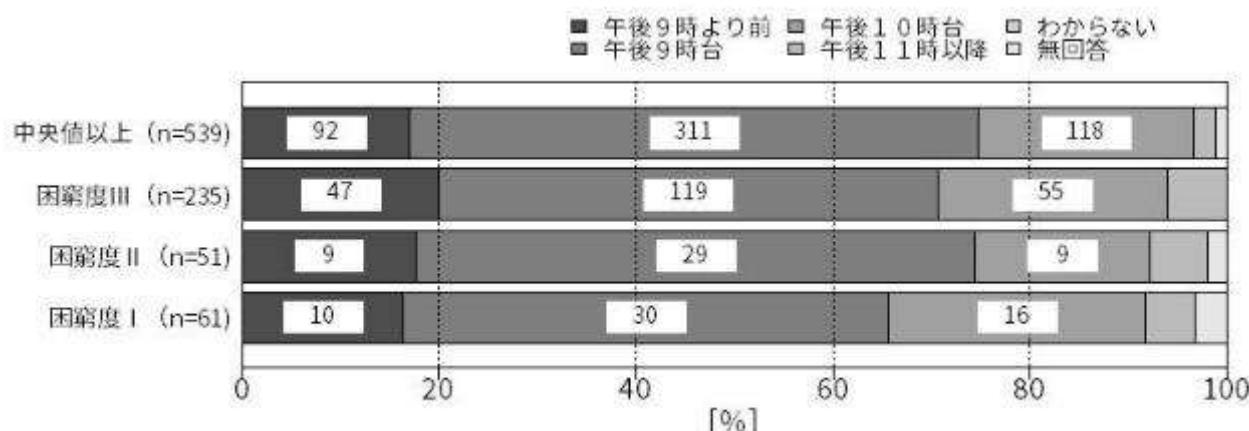
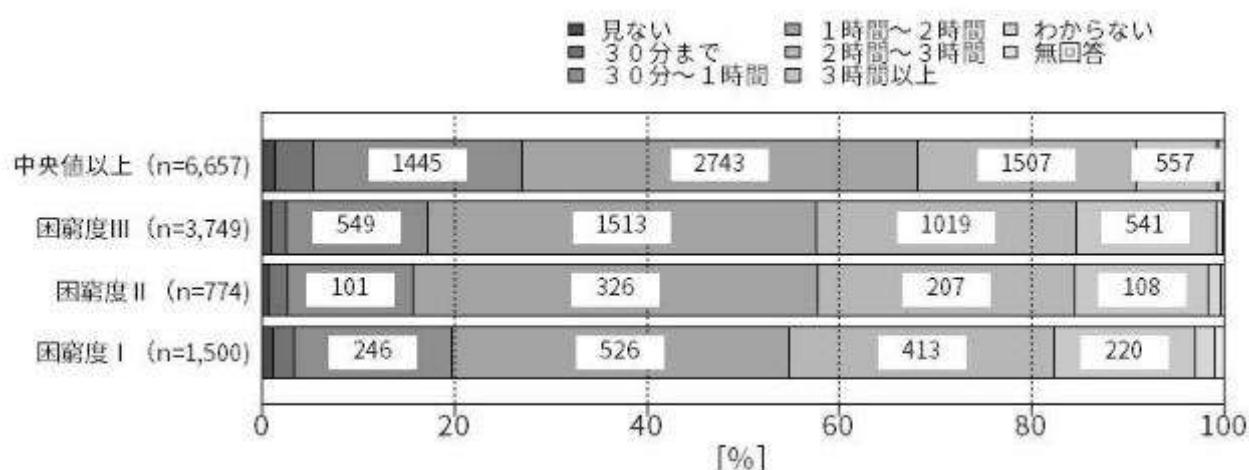


図 123. 困窮度別に見た、就寝時間

困窮度が厳しくなるにしたがって、就寝時間が遅くなる傾向にあった。困窮度 I 群においては午後 10 時台と回答した割合がやや高く、26.2% となっている。

困窮度別に見た、テレビ視聴時間（問 24）

<大阪市 24 区>



<大阪市城東区>

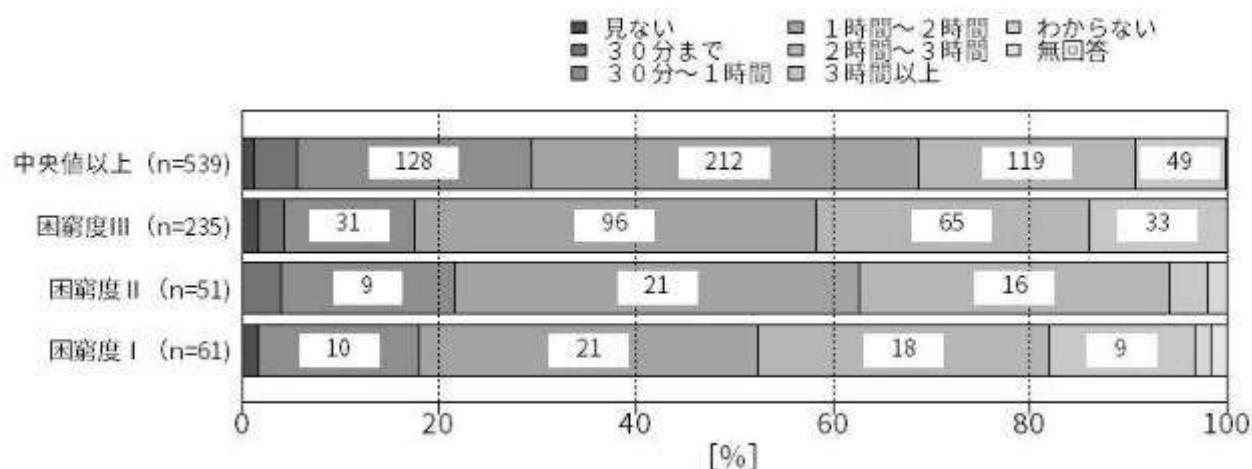


図 124. 困窮度別に見た、テレビ視聴時間

困窮度が厳しくなるにしたがって、視聴時間が長くなる傾向にあった。中央値以上群では「見ない」～「1時間～2時間」の回答を選択した割合が高く、約 7割弱となっている。